

評価基準	自己評価結果	取組結果	自己評価結果の理由	改善の要否等について	取組結果	理由や改善に対する意見等	備考
Ⅲ-3-③ 窓口の質の向上に向けた体制が確立されている。	5 4 3 2 1	47 (15.0%) 50 (16.6%) 87 (22.2%) 52 (17.2%) 28 (9.3%)					
Ⅲ-3-③-① 窓口の教育・研修に関する基本姿勢が明示され	a b c 該当しない	183 (54.0%) 26 (8.6%) 107 (35.4%) 3 (1.0%)	a=法人内窓口研修を企画、実施。c=毎月定期研 修を実施。外館研修の参加、資格取得も推奨している が文書整理がされていない	a) おおむね必要である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	242 (80.1%) 25 (8.3%) 0 (0.0%) 4 (1.3%)	第三者では資格者数でしか判断できないのでは、 研修施設は人員配置、職員研修の多さなどから目録 性のある研修企画までできないのが現状	
Ⅲ-3-③-② 個別の窓口に対して組織としての教育・研修計画 策定されている。	a b c 該当しない	96 (31.8%) 118 (39.1%) 88 (28.5%) 1 (0.3%)	a=担当窓口を抽出し、窓口業務の取組に向けて専 業計画の年度重点項目に沿って実施。c=個々の リーダーからアドバイスがなされる程度	a) おおむね必要である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	230 (78.2%) 38 (11.9%) 1 (0.3%) 8 (2.0%)	一人一人の窓口の計画・評価まで3項目も入れるべ きか ・併設施設では答えにくい ・判断基準が二極化すぎている	
Ⅲ-3-③-③ 計画に基づいて具体的な取組が行われてい	a b c 該当しない	119 (39.4%) 41 (13.6%) 125 (41.4%) 12 (4.0%)	a=研修参加に両面併用の支援。c=計画がない c=人ひと研修制度で個別の目標が設定され、それを 基にした個別研修計画策定を予定	a) おおむね必要である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	224 (74.2%) 41 (13.6%) 1 (0.3%) 5 (1.7%)	研修成果の評価とは？ ・パート・登録を含む全職員(約90名)に個別の計画 が必要かの意向がある(市社会福祉協議会) ・研修の成果が利用者に反映されるかを評価する方 法を検討する必要あり	
Ⅲ-3-③-④ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直し を行っている。	a b c 該当しない	90 (28.8%) 72 (23.8%) 127 (42.1%) 7 (2.3%)	a=定期的に研修会話を開催し評価等を行っている c=報告レポートは作成しているがそれに対する評 価、見直しは行っていない	a) おおむね必要である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	223 (73.8%) 37 (12.3%) 1 (0.3%) 8 (2.8%)	公立施設では単独での評価は困難	
Ⅲ-4 安全管理							
Ⅲ-4-① 利用者の安全を確保するための取組が行われ	5 4 3 2 1	85 (28.1%) 85 (21.5%) 59 (18.5%) 35 (11.8%) 12 (4.0%)					
Ⅲ-4-①-① 利用者の安全確保のための体制が整備されてし	a b c 該当しない	209 (82.2%) 28 (8.8%) 61 (20.2%) 5 (1.7%)	a=リスクマネジメント委員会を設け、仕組みはできて いる。a=ヒヤリハットを実施。b=各部署で事故防 止等のためのマニュアルを策定	a) おおむね必要である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	225 (83.3%) 22 (8.7%) 2 (0.8%) 3 (1.2%)	「安全」という概念の基準が明確ではないが、現体制 ではヒヤリハットはなくてはならない。「安全確保」のた めの体制とは具体的に何を言うのか、もう少し具体的 な表現の方が評価しやすい。	
Ⅲ-4-①-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策 している。	a b c 該当しない	186 (61.8%) 90 (29.8%) 19 (6.3%) 1 (0.3%)	a=事故・ヒヤリハット報告書を活用、要因分析、対応 策の検討をしている。b=報告書の抽出が要因分析、 対応策検討に十分役立つ仕組みになっていない。	a) おおむね必要である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	223 (86.8%) 25 (10.0%) 1 (0.4%) 2 (0.8%)	利用者のニーズが多様化している今、安全にも様々 ある。組織的な対策を講じるシステムが書面化されて いるか評価する。	

評価基準	自己評価結果	累計結果	自己評価結果の理由	基準の妥当性について	累計結果	理由や基準に対する意見等	備考
IV-1-1-1-1) 適切な福祉サービスの実施 IV-1-1-1-2) 利用者本位の福祉サービス IV-1-1-1-3) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	5 4 3 2 1	63 (20.9%) 89 (22.8%) 89 (22.8%) 44 (14.6%) 13 (4.3%)					
IV-1-1-1-1) 利用者を尊重したサービス提供について共通の ための取り組みを行っている。	a b c 該当しない	209 (69.2%) 75 (24.8%) 13 (4.3%) 2 (0.7%)	a=サービス基準指針/施設内研修/ケアプラン会議/ 声かけ・禁句マニュアル・b=マニュアルの整備が不 十分・c=基本姿勢が明示されていない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	281 (88.4%) 16 (5.3%) 1 (0.3%) 0 (0%)	・利用者の尊重は「利用者の人格または人格の尊 重」の意義を入れた方がよい。身体拘束についても問 いかけた。	
IV-1-1-1-2) 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニ ュアルを整備している。	a b c 該当しない	106 (35.1%) 54 (17.9%) 133 (44.0%) 6 (2.0%)	a=業務マニュアルで、守秘義務について規定。職 員採用時に守秘義務の誓約書を取り交わす・c=マ ニュアル、規定が未整備	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	231 (76.5%) 33 (10.9%) 1 (0.3%) 3 (1.0%)	・遵守できる規程を設けていればマニュアルまで必要 ないのでは ・特別な取り組みの具体例があれば評価しやすい	
IV-1-1-1-2) 利用者満足の上昇に努めている。	5 4 3 2 1	58 (19.2%) 43 (14.2%) 52 (17.2%) 41 (13.6%) 40 (13.2%)					
IV-1-1-2-1) 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備して いる。	a b c 該当しない	122 (40.4%) 27 (8.9%) 137 (45.4%) 12 (4.0%)	a=利用者の自治会を通して要望、意見が届くように している・b=年一回、アンケートを実施。・該当し ない=c=利用者が乳幼児であるため	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	210 (69.5%) 45 (14.9%) 4 (1.3%) 10 (3.3%)	・着眼点の範囲が狭い・満足度調査をしていないとc の評価が独自の手法で把握していることある。中間 的な評価がほしい・乳幼児、障害者児等困難	
IV-1-1-2-2) 利用者満足の上昇に向けた取り組みを行って いる。	a b c 該当しない	117 (38.7%) 43 (14.2%) 118 (38.4%) 22 (7.3%)	a=毎月、定期的に利用者満足の上昇の検討会を實 施。アンケートの調査結果を基にした検討会も・c= 利用者満足度の調査分析は行っていないので	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	215 (71.2%) 35 (11.6%) 5 (1.7%) 10 (3.3%)	・調査が前接なので回答できない。満足の上昇に向け た取り組みは他にもあるのでは・苦情申し立てとどう 区分していいか	
IV-1-1-3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されてい る。	5 4 3 2 1	59 (19.5%) 4 (1.3%) 84 (27.8%) 36 (11.9%) 11 (3.6%)					
IV-1-1-3-1) 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備 している。	a b c 該当しない	177 (58.6%) 90 (29.8%) 25 (8.3%) 8 (2.8%)	a=定期的に相談日、入居者との懇話会を毎月実施/ プライバシーの守られる相談室を準備・b=担当者が 定期的に居室へ訪問、入居者の集まりもある	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	247 (81.8%) 22 (7.3%) 1 (0.3%) 2 (0.7%)	この項目は施設サービス向け、ヘルパーの場合、個 別サービスなので評価のニュアンスが異なる ・意見、提案と苦情、要望についてはっきり区別がつか ない	
IV-1-1-3-2) 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能 している。	a b c 該当しない	189 (62.8%) 97 (32.1%) 13 (4.3%) 0 (0%)	a=苦情処理体制が整備され、その指示や案内も行 われている・b=体制は整備しているが十分に機能し ていない・c=掲示物を掲示していない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	257 (85.1%) 14 (4.6%) 1 (0.3%) 1 (0.3%)	第三者委員の配置と機能についても着重点に記載す るべき ・知的障害者、幼児、年少者への周知について評価が むずかしいのでは	
IV-1-1-3-3) 利用者からの意見等に対して迅速に対応してい る。	a b c 該当しない	145 (48.0%) 28 (8.6%) 122 (40.4%) 5 (1.7%)	a=利用者からの意見には速やかに対応している が、マニュアル化はしていない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	237 (78.5%) 30 (9.9%) 5 (1.7%) 2 (0.7%)	マニュアルの有無と対応の有無は異なるのでは ・利用者からの意見は「利用者満足のための仕組み」 に含まれるのでは	

評価基準		自己評価結果	取組結果	自己評価結果の理由	基準の妥当性について	取組結果	理由や基準に対する意見等	備考
IV-2-2-1-1	サービスの質の確保							
IV-2-2-1-1	質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	5 4 3 2 1	45 (14.9%) 47 (15.6%) 52 (17.2%) 52 (17.2%) 49 (16.2%)					
IV-2-2-1-1	サービス内容について定期的に評価を行う体制がある。	a b c	112 (37.1%) 25 (9.8%) 153 (50.7%)	・a=年2-3回の個別評価会、各人が所属する班の総括を全職員で実施。・b=第三者評価は行っていないが各部署の責任者による自己評価を実施 ・c=課題を明確にする取り組みは行っていないが定期的な評価に基づいていない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	223 (73.8%) 44 (14.6%) 4 (1.3%) 1 (0.3%)	・第三者評価をきちんと確立してからの区間も含まれている。第三者評価の確立が課題 ・自己評価と第三者評価は同時に扱うのではなく、第三者評価を上位にするべき。第三者評価を受け、その結果課題に対しての取り組みが必要 ・第三者評価を上位にするべき。第三者評価を受け、その結果課題に対しての取り組みが必要 ・第三者評価を上位にするべき。第三者評価を受け、その結果課題に対しての取り組みが必要	
IV-2-2-1-2	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題がある。	該当しない	120 (39.7%) 28 (9.3%) 132 (43.7%) 15 (5.0%)	・a=内容に応じて現場レベル、従業員、役員会で検討 ・b=課題を明確にする取り組みは行っていないが定期的な評価に基づいていない ・c=課題を明確にする取り組みは行っていないが定期的な評価に基づいていない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	224 (74.2%) 37 (12.3%) 7 (2.3%) 2 (0.7%)	・第三者評価をきちんと確立してからの区間も含まれている。第三者評価の確立が課題 ・自己評価と第三者評価は同時に扱うのではなく、第三者評価を上位にするべき。第三者評価を受け、その結果課題に対しての取り組みが必要 ・第三者評価を上位にするべき。第三者評価を受け、その結果課題に対しての取り組みが必要 ・第三者評価を上位にするべき。第三者評価を受け、その結果課題に対しての取り組みが必要	
IV-2-2-1-3	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a b c	114 (37.7%) 51 (16.9%) 110 (36.4%) 19 (6.3%)	・a=課題についての改善を図っているが計画的には実施していない。・b=課題を明確にする取り組みは行っていないが定期的な評価に基づいていない ・c=課題を明確にする取り組みは行っていないが定期的な評価に基づいていない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	228 (75.5%) 34 (11.3%) 3 (1.0%) 2 (0.7%)	・第三者評価をきちんと確立してからの区間も含まれている。第三者評価の確立が課題 ・自己評価と第三者評価は同時に扱うのではなく、第三者評価を上位にするべき。第三者評価を受け、その結果課題に対しての取り組みが必要 ・第三者評価を上位にするべき。第三者評価を受け、その結果課題に対しての取り組みが必要 ・第三者評価を上位にするべき。第三者評価を受け、その結果課題に対しての取り組みが必要	
IV-2-2-2	個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	5 4 3 2 1	53 (17.5%) 66 (21.9%) 85 (21.5%) 35 (11.8%) 7 (2.3%)					
IV-2-2-2-1	個々のサービスの標準的な実施方法が提供されている。	a b c	169 (58.0%) 81 (20.2%) 57 (18.9%) 6 (2.0%)	・a=業務計画書において文書化/各部署で業務マニュアルを作成。・c=長期間改訂されなかった過去の手順書を現在改定中 ・b=年1回、定期的に見直しを行っている。・c=見直しの仕組みは確立されていない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	225 (74.5%) 38 (12.8%) 4 (1.3%) 7 (2.3%)	・業務計画書の現状ではサービスを主体として促えるのが困難な面もあり適切な回答ができない ・実際のサービスに生かされているかの評価は困難 ・全国的な指針が必要では ・具体的例があるとうわりやすい ・随時見直しはb評価でよいのでは。随時対応をcと断定するのは疑問	
IV-2-2-2-2	標準的な実施方法について見直しをする仕組みがある。	a b c	150 (49.7%) 23 (7.8%) 109 (36.1%) 8 (2.8%)	・a=年1回、定期的に見直しを行っている。・c=必要に応じて随時見直しとなっている。・c=見直しの仕組みは確立されていない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	221 (73.2%) 40 (13.2%) 5 (1.7%) 5 (1.7%)	・業務計画書の現状ではサービスを主体として促えるのが困難な面もあり適切な回答ができない ・実際のサービスに生かされているかの評価は困難 ・全国的な指針が必要では ・具体的例があるとうわりやすい ・随時見直しはb評価でよいのでは。随時対応をcと断定するのは疑問	
IV-2-2-3	サービス実施の記録が適切に行われている。	5 4 3 2 1	65 (21.5%) 72 (23.8%) 49 (16.2%) 21 (7.0%) 7 (2.3%)					
IV-2-2-3-1	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a b c	245 (81.1%) 18 (5.3%) 30 (9.9%)	・a=部門ごとに日誌等で整備/ケース記録/全体ではないが必要な人について記録。・c=サービス実施状況は記録されているが計画が不十分	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	247 (81.8%) 19 (8.3%) 1 (0.3%) 3 (1.0%)	・ヘルパーの場合基本的には訪問時の実施・観察記録のみ、複数の記録がない。「適切」というより、もう少し具体的な指標の方がよい ・部署の情報は可能か。可能としても大変な作業では ・利用者に関する記録にとまらず、他の文書管理についても情報が残っているか、運用は？	
IV-2-2-3-2	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a b c	169 (58.0%) 52 (17.2%) 71 (23.5%) 3 (1.0%)	・a=管理規定に定め職員に徹底。・b=情報開示の規程が未整備。・c=担当者は把握されているが規程は未整備	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	244 (80.8%) 14 (4.6%) 1 (0.3%) 3 (1.0%)	・ヘルパーの場合基本的には訪問時の実施・観察記録のみ、複数の記録がない。「適切」というより、もう少し具体的な指標の方がよい ・部署の情報は可能か。可能としても大変な作業では ・利用者に関する記録にとまらず、他の文書管理についても情報が残っているか、運用は？	
IV-2-2-3-3	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有している。	a b c	235 (77.8%) 49 (16.2%) 8 (2.8%) 4 (1.3%)	・a=ノート、業務日報の活用/回覧や会議。・b=引継ぎ。・c=効果の評価が不十分。共有化のための具体的方法を検討中/申し送り共有	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	245 (81.1%) 16 (5.3%) 2 (0.7%) 1 (0.3%)	・着眼点があげられているが、どの程度出来ていれば出来ていると評価してよいか目安がほしい。効果を何をもって判断するのか	

評価基準	自己評価結果	集計結果	自己評価結果の理由	改善の妥当性について	集計結果	理由や基準に対する意見等	備考
IV-3-1-1) 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報提供している。	5 4 3 2 1	70 (23.2%) 86 (28.5%) 68 (22.8%) 13 (4.3%) 13 (4.3%)	a=ホームページ作成と更新/広報誌の発行、パンフレット、b=パンフレット、金報等、c=パンフレットは作成しているがホームページは未作成	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	229 (75.8%) 28 (9.3%) 5 (1.7%) 4 (1.3%)	・自治体によって営業用パンフレットは公共施設に置けないところもある、介護保険施設は入り口は居宅支店等営業所である、措置施設では回客が困難	
IV-3-1-2) 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報提供している。	a b c 該当しない	135 (44.7%) 119 (39.4%) 22 (7.3%) 17 (5.6%)	a=養老老人ホームを説明した文書、入居のしおりを配布、ウェビナーを作成して以降も確認している/理解しやすい方法について不十分	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	232 (76.8%) 21 (7.0%) 7 (2.3%) 2 (0.7%)	・同意を得ずにサービスを行うことはありえないのでこの項不採、措置入所施設では料金説明は行わない、契約書も交わさない、判断基準が合致していない	
IV-3-2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	5 4 3 2 1	58 (19.2%) 53 (17.5%) 45 (14.9%) 31 (10.3%) 24 (7.9%)	a=利用終了時には必ず文書で利用中の状況を報告する、b=他の事業所への場合は引継ぎを行うが退所の場合はその後の対応はされていない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	218 (71.5%) 27 (8.9%) 7 (2.3%) 7 (2.3%)	・在宅サービスでは必ず介護支援専門員がいるので他の機関と連絡をとることはない、契約施設の場合、契約終了後どのレベルまでフォローすべきか	
IV-4-1) サービス実施計画の策定	5 4 3 2 1	80 (26.5%) 79 (26.2%) 48 (15.9%) 17 (5.6%) 13 (4.3%)	a=定められた方法、手順で役割分担/年一度実施(ケアハウス)/定期的な面談を実施(知的障害更生)	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	235 (77.8%) 19 (6.3%) 5 (1.7%) 5 (1.7%)	・ケアハウスという性格を考慮するとアセスメント、課題設定の必要性はかなりバラツキがある、統一した基準で評価することはむずかしいのでは、介護保険施設では法的な縛りがあり、指導監査と重畳している感が強い	
IV-4-1-1) 定められた手順に従ってアセスメントを行っている	a b c 該当しない	211 (69.9%) 57 (18.9%) 11 (3.6%) 18 (5.9%)	a=それぞれ別の場面でのアセスメントにより検討、c=必要な場面ごとに明示されていない/書面上明示していない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	229 (75.8%) 21 (7.0%) 5 (1.7%) 6 (2.0%)	・アセスメントは一律にはできない、そのような評価基準は見直しが必要では	
IV-4-1-2) 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	5 4 3 2 1	72 (23.8%) 54 (17.9%) 38 (12.6%) 25 (8.3%) 10 (3.3%)	a=責任者と策定方法が定まっている、b=うま(個人)に足りない緊急に必要が必要な場合の仕組みが不十分、c=サービス実施計画なし(ケアハウス)	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	229 (75.8%) 28 (8.8%) 5 (1.7%) 5 (1.7%)	・対応できていれば、という評価にならず、しっかりと努力されているかどうかを評価してほしい、IV-4-1(1)と(2)を整理してひとつの項目にできないか	
IV-4-2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている	a b c 該当しない	191 (63.2%) 75 (24.8%) 13 (4.3%) 15 (5.0%)	a=6ヶ月ごとに見直し、担当ケアマネから連絡があれば、その都度見直し、検討を行う、c=短期入所利用者について手順作成に至っていない	a) おおむね妥当である b) 見直しが必要である c) 本基準は不要である d) その他	224 (74.2%) 25 (8.3%) 4 (1.3%) 2 (0.7%)	・評価・見直しを行っているが不十分であるという判断基準を付け加える方がよい	

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計(最終)

1-1-1. 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立されている
種別・中区分

調査数	1	2	3	4	5	無回答	
全体	302	17	13	41	81	116	34
	100.0	5.6	4.3	13.6	26.8	38.4	11.3
救護	11	1	1	3	3	5	1
	100.0	9.1	8.1	27.3	45.5	8.1	1
看護	15	2	2	4	4	6	1
	100.0	13.3	13.3	26.7	40.0	6.7	1
特養	37	2	2	8	17	17	7
	100.0	5.4	2.7	5.4	21.6	45.9	18.9
ケアハウス	18	2	5	2	7	7	2
	100.0	11.1	27.8	11.1	38.9	11.1	1
通所介護	29	3	3	4	17	17	5
	100.0	10.3	10.3	13.8	58.6	17.2	1
短期入所	12	1	1	2	8	8	1
	100.0	8.3	7.7	16.7	66.7	8.3	1
訪問介護	20	2	3	7	4	4	2
	100.0	10.0	15.0	35.0	20.0	10.0	10.0
身体介護	23	4	4	8	9	9	2
	100.0	17.4	17.4	34.8	39.1	8.7	1
身障授産	12	1	1	3	4	1	2
	100.0	8.3	8.3	25.0	33.3	8.3	16.7
身障通所授産	6	1	1	2	2	1	1
	100.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7
乳児院	7	2	2	2	3	3	1
	100.0	28.6	28.6	28.6	42.9	42.9	42.9
母子生活支援	8	1	1	5	1	1	1
	100.0	12.5	12.5	62.5	12.5	12.5	12.5
保育所	23	2	2	9	10	10	2
	100.0	8.7	8.7	39.1	43.5	8.7	8.7
児童養護	13	1	2	3	3	3	2
	100.0	7.7	15.4	23.1	23.1	23.1	15.4
知的障害児	15	2	4	3	7	7	1
	100.0	13.3	26.7	20.0	46.7	6.7	6.7
知的入所更生	13	1	2	4	4	4	1
	100.0	7.7	15.4	30.8	30.8	7.7	7.7
知的通所更生	14	1	3	5	3	3	2
	100.0	7.1	21.4	35.7	21.4	14.3	14.3
知的入所授産	13	2	4	4	6	6	1
	100.0	15.4	30.8	30.8	46.2	7.7	7.7
知的通所授産	13	1	3	2	4	4	2
	100.0	7.7	23.1	15.4	30.8	15.4	15.4
A	131	7	5	15	27	59	18
	100.0	5.3	3.8	11.5	20.6	45.0	13.7
B	105	8	6	15	32	33	11
	100.0	7.6	5.7	14.3	30.5	31.4	10.5
C	66	2	2	11	22	24	5
	100.0	3.0	3.0	16.7	33.3	36.4	7.6

(1) ①理念が明文化されている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	250	7	40	3	2
100.0	82.8	2.3	13.2	1.0	0.7
11	8	2	2	1	1
100.0	72.7	18.2	9.1	9.1	9.1
15	12	3	3	1	1
100.0	80.0	20.0	20.0	6.7	6.7
37	33	1	2	2	1
100.0	89.2	2.7	5.4	5.4	2.7
18	16	2	11.1	2	2
100.0	88.9	11.1	11.1	11.1	11.1
29	26	2	2	2	1
100.0	89.7	6.9	6.9	6.9	3.4
12	11	1	8.3	1	1
100.0	91.7	8.3	8.3	8.3	8.3
20	13	7	35.0	1	2
100.0	65.0	35.0	35.0	5.0	10.0
23	19	1	3	3	2
100.0	82.6	4.3	13.0	13.0	8.7
12	10	2	16.7	1	1
100.0	83.3	16.7	16.7	8.3	8.3
6	3	1	2	2	1
100.0	50.0	16.7	33.3	33.3	16.7
7	5	2	28.6	1	1
100.0	71.4	28.6	28.6	14.3	14.3
8	5	2	25.0	1	1
100.0	62.5	25.0	25.0	12.5	12.5
23	21	1	1	1	2
100.0	91.3	4.3	4.3	4.3	8.7
13	9	3	23.1	1	2
100.0	69.2	23.1	23.1	7.7	15.4
15	15	1	1	1	1
100.0	100.0	6.7	6.7	6.7	6.7
13	9	4	30.8	1	1
100.0	69.2	30.8	30.8	7.7	7.7
14	12	1	7.1	1	2
100.0	85.7	7.1	7.1	7.1	14.3
13	13	1	1	1	3
100.0	100.0	7.7	7.7	23.1	23.1
13	10	2	1	1	1
100.0	76.9	15.4	7.7	7.7	7.7
131	112	8	7.7	1	9
100.0	85.5	6.1	0.8	0.8	6.9
105	88	5	1	1	11
100.0	83.8	4.8	1.0	1.0	10.5
66	56	4	3	3	3
100.0	84.8	6.1	4.5	4.5	4.5

(1) ②理念が明文化されている

調査数	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
302	17	5	1	23
100.0	84.8	1.7	0.3	7.6
11	8	1	2	2
100.0	72.7	9.1	18.2	18.2
15	14	1	1	1
100.0	93.3	6.7	6.7	6.7
37	32	2	3	3
100.0	86.5	5.4	8.1	8.1
18	15	1	2	2
100.0	83.3	5.6	11.1	11.1
29	24	3	2	6.9
100.0	82.8	10.3	6.9	6.9
12	11	1	1	1
100.0	91.7	8.3	8.3	8.3
20	16	1	1	2
100.0	80.0	5.0	5.0	10.0
23	20	1	2	2
100.0	87.0	4.3	8.7	8.7
12	10	1	1	1
100.0	83.3	8.3	8.3	8.3
6	5	1	1	1
100.0	83.3	16.7	16.7	16.7
7	6	1	1	1
100.0	85.7	14.3	14.3	14.3
8	6	1	1	1
100.0	75.0	12.5	12.5	12.5
23	20	2	2	2
100.0	87.0	4.3	8.7	8.7
13	10	1	1	2
100.0	76.9	7.7	15.4	15.4
15	14	1	1	1
100.0	93.3	6.7	6.7	6.7
13	11	1	1	1
100.0	84.6	7.7	7.7	7.7
14	11	1	2	2
100.0	78.6	7.1	14.3	14.3
13	13	1	1	3
100.0	100.0	7.7	23.1	23.1
131	116	6	1	9
100.0	88.5	4.6	0.8	6.9
105	88	1	1	11
100.0	83.8	1.0	1.0	10.5
66	58	3	3	3
100.0	87.9	4.5	6.1	4.5

(1) ③理念に基づく基本方針が明文化されている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	262	15	20	3	2
100.0	86.8	5.0	6.6	1.0	0.7
11	9	1	1	1	1
100.0	81.8	9.1	9.1	9.1	9.1
15	14	1	1	1	1
100.0	93.3	6.7	6.7	6.7	6.7
37	35	1	1	1	1
100.0	94.6	2.7	2.7	2.7	2.7
18	17	1	1	1	1
100.0	94.4	5.6	5.6	5.6	5.6
29	27	1	1	1	1
100.0	93.1	3.4	3.4	3.4	3.4
12	11	1	1	1	1
100.0	91.7	8.3	8.3	8.3	8.3
20	12	4	4	1	2
100.0	60.0	20.0	20.0	5.0	10.0
23	20	2	2	2	2
100.0	87.0	8.7	8.7	8.7	8.7
12	10	1	1	1	1
100.0	83.3	8.3	8.3	8.3	8.3
6	3	2	1	1	1
100.0	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7
7	5	1	1	1	1
100.0	71.4	14.3	14.3	14.3	14.3
8	6	1	1	1	1
100.0	75.0	12.5	12.5	12.5	12.5
23	23	1	1	1	1
100.0	100.0	7.7	7.7	7.7	7.7
13	10	1	3	1	1
100.0	76.9	23.1	23.1	7.7	7.7
15	14	1	1	1	1
100.0	93.3	6.7	6.7	6.7	6.7
13	11	1	1	1	1
100.0	84.6	7.7	7.7	7.7	7.7
14	11	1	2	1	2
100.0	78.6	7.1	14.3	7.1	14.3
13	13	1	1	1	1
100.0	100.0	7.7	23.1	23.1	23.1
131	116	6	1	9	9
100.0	88.5	4.6	0.8	6.9	6.9
105	88	1	1	11	11
100.0	83.8	1.0	1.0	10.5	10.5
66	58	3	3	3	3
100.0	87.9	4.5	6.1	4.5	4.5

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計（最終）

1-1-1. 理念・基本方針

(1) ①の理念に基づく基本方針が明文化されている種別・中区分

	調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
全体	302	261	15	2	-	24
	100.0	86.4	5.0	0.7	-	7.9
介護	11	8	1	-	-	2
	100.0	72.7	9.1	-	-	18.2
養護	15	15	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
特養	37	33	1	-	-	3
	100.0	89.2	2.7	-	-	8.1
ケアハウス	18	14	2	-	-	2
	100.0	77.8	11.1	-	-	11.1
通所介護	29	25	2	-	-	2
	100.0	86.2	6.9	-	-	6.9
短期入所	12	11	1	-	-	-
	100.0	91.7	8.3	-	-	-
訪問介護	20	17	1	-	-	2
	100.0	85.0	5.0	-	-	10.0
身体介護	23	20	1	-	-	2
	100.0	87.0	4.3	-	-	8.7
身体授産	12	9	-	1	-	2
	100.0	75.0	-	8.3	-	16.7
身体通所授産	6	5	-	-	-	-
	100.0	83.3	16.7	-	-	-
乳児院	7	6	1	-	-	-
	100.0	85.7	14.3	-	-	-
母子生活支援	8	6	-	1	-	1
	100.0	75.0	-	12.5	-	12.5
保育所	23	22	1	-	-	-
	100.0	95.7	4.3	-	-	-
児童養護	13	10	-	-	-	2
	100.0	76.9	7.7	-	-	15.4
知的障害児	15	14	1	-	-	-
	100.0	93.3	6.7	-	-	-
知的入所更生	13	13	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
知的通所更生	14	12	-	-	-	2
	100.0	85.7	-	-	-	14.3
知的入所授産	13	10	-	-	-	3
	100.0	76.9	-	-	-	23.1
知的通所授産	13	11	1	-	-	1
	100.0	84.6	7.7	-	-	7.7
A	131	115	7	-	-	9
	100.0	87.8	5.3	-	-	6.9
B	105	88	4	1	-	12
	100.0	83.8	3.8	1.0	-	11.4
C	68	58	4	1	-	3
	100.0	87.9	6.1	1.5	-	4.5

(1) ②基本方針の内容は適切である

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	199	80	11	11	1
100.0	65.9	26.5	3.6	3.6	0.3
11	7	2	1	1	-
100.0	63.6	18.2	9.1	9.1	-
15	9	6	-	-	-
100.0	60.0	40.0	-	-	-
37	29	6	1	-	1
100.0	78.4	16.2	2.7	-	2.7
18	9	7	1	1	-
100.0	50.0	38.9	5.6	5.6	-
29	23	5	-	1	-
100.0	79.3	17.2	-	3.4	-
12	9	3	-	-	-
100.0	75.0	25.0	-	-	-
20	11	5	1	3	-
100.0	55.0	25.0	5.0	15.0	-
23	14	8	-	1	-
100.0	60.9	34.8	-	4.3	-
12	8	3	1	-	-
100.0	66.7	25.0	8.3	-	-
6	3	2	-	1	-
100.0	50.0	33.3	-	16.7	-
7	2	4	1	-	-
100.0	28.6	57.1	14.3	-	-
8	5	2	-	1	-
100.0	62.5	25.0	-	12.5	-
23	15	8	-	-	-
100.0	65.2	34.8	-	-	-
13	10	1	2	-	-
100.0	76.9	7.7	15.4	-	-
15	11	4	-	-	-
100.0	73.3	26.7	-	-	-
13	7	5	1	-	-
100.0	53.8	38.5	7.7	-	-
14	9	3	1	1	-
100.0	64.3	21.4	7.1	7.1	-
13	11	2	-	-	-
100.0	84.6	15.4	-	-	-
13	7	4	1	1	-
100.0	53.8	30.8	7.7	7.7	-
131	90	32	3	5	1
100.0	68.7	24.4	2.3	3.8	0.8
105	66	29	5	5	-
100.0	62.9	27.6	4.8	4.8	-
66	43	19	3	1	-
100.0	65.2	28.8	4.5	1.5	-

(1) ③基本方針の内容は適切である

調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
302	251	19	4	2	26
100.0	83.1	6.3	1.3	0.7	8.6
11	7	1	-	-	3
100.0	63.6	9.1	-	-	27.3
15	15	-	-	-	-
100.0	100.0	-	-	-	-
37	33	-	1	-	3
100.0	89.2	-	2.7	-	8.1
18	15	1	-	-	2
100.0	83.3	5.6	-	-	11.1
23	23	3	1	-	2
100.0	79.3	10.3	3.4	-	6.9
12	9	1	1	-	1
100.0	75.0	8.3	8.3	-	8.3
20	15	3	-	-	2
100.0	75.0	15.0	-	-	10.0
23	20	1	-	-	2
100.0	87.0	4.3	-	-	8.7
12	11	-	-	-	1
100.0	91.7	-	-	-	8.3
6	5	-	-	-	1
100.0	83.3	-	-	-	16.7
7	4	3	-	-	-
100.0	57.1	42.9	-	-	-
8	5	1	1	-	1
100.0	62.5	12.5	12.5	-	12.5
23	20	1	-	2	-
100.0	87.0	4.3	-	8.7	-
13	10	1	-	-	2
100.0	76.9	7.7	-	-	15.4
15	14	1	-	-	-
100.0	93.3	6.7	-	-	-
13	13	-	-	-	-
100.0	100.0	-	-	-	-
14	12	-	-	-	2
100.0	85.7	-	-	-	14.3
13	9	1	-	-	3
100.0	69.2	7.7	-	-	23.1
13	11	1	-	-	1
100.0	84.6	7.7	-	-	7.7
131	110	8	3	-	10
100.0	84.0	6.1	2.3	-	7.6
105	88	4	-	-	13
100.0	83.8	3.8	-	-	12.4
66	53	7	1	2	3
100.0	80.3	10.6	1.5	3.0	4.5

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計(最終)

1-1-1. 理念・基本方針
(2) 理念や基本方針が周知されている
種別・中区分

	調査数	1	2	3	4	5	無回答
全体	302	20	33	77	50	57	65
救護	100.0	6.6	10.9	25.5	16.6	18.9	21.5
支援	11	-	1	5	-	-	5
100.0	-	9.1	45.5	-	-	-	45.5
15	1	1	4	2	4	3	3
100.0	6.7	6.7	26.7	13.3	26.7	20.0	20.0
37	1	3	9	9	7	8	8
100.0	2.7	8.1	24.3	24.3	18.9	21.6	21.6
18	2	2	3	4	4	3	3
100.0	11.1	11.1	16.7	22.2	22.2	16.7	16.7
29	-	4	4	6	6	9	6
100.0	-	13.8	13.8	20.7	31.0	20.7	20.7
12	-	1	3	3	3	2	2
100.0	-	8.3	25.0	33.3	33.3	16.7	16.7
20	1	3	7	1	3	5	5
100.0	5.0	15.0	35.0	5.0	15.0	25.0	25.0
23	1	5	5	2	6	4	4
100.0	4.3	21.7	21.7	8.7	26.1	17.4	17.4
12	1	3	4	2	2	2	2
100.0	8.3	25.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7
6	1	1	-	3	1	-	-
100.0	16.7	16.7	-	50.0	16.7	-	-
7	-	-	5	-	1	1	1
100.0	-	-	71.4	-	14.3	14.3	14.3
8	1	-	3	2	1	1	1
100.0	12.5	-	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5
23	3	1	4	3	7	5	5
100.0	13.0	4.3	17.4	13.0	30.4	21.7	21.7
13	1	3	4	3	-	2	2
100.0	7.7	23.1	30.8	23.1	-	15.4	15.4
15	-	-	7	2	4	2	2
100.0	-	-	46.7	13.3	26.7	13.3	13.3
13	1	1	4	2	2	3	3
100.0	7.7	7.7	30.8	15.4	15.4	23.1	23.1
14	2	2	2	1	1	6	6
100.0	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	42.9	42.9
13	1	1	3	4	1	3	3
100.0	7.7	7.7	23.1	30.8	7.7	23.1	23.1
13	3	1	1	1	3	4	4
100.0	23.1	7.7	7.7	7.7	23.1	30.8	30.8
131	5	14	30	25	30	27	27
100.0	3.8	10.7	22.9	19.1	22.9	20.6	20.6
105	10	15	24	15	14	27	27
100.0	9.5	14.3	22.9	14.3	13.3	25.7	25.7
66	5	4	23	10	13	11	11
100.0	7.6	6.1	34.8	15.2	19.7	16.7	16.7

(2) ①理念や基本方針が職員に周知されている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	184	24	76	16	2
100.0	60.9	7.9	25.2	5.3	0.7
11	5	2	2	2	-
100.0	45.5	18.2	18.2	18.2	-
15	9	1	5	-	-
100.0	60.0	6.7	33.3	-	-
37	26	4	5	1	1
100.0	70.3	10.8	13.5	2.7	2.7
18	13	1	3	1	-
100.0	72.2	5.6	16.7	5.6	-
29	21	2	5	1	-
100.0	72.4	6.9	17.2	3.4	-
12	7	-	5	-	-
100.0	58.3	-	41.7	-	-
20	10	1	6	3	-
100.0	50.0	5.0	30.0	15.0	-
23	12	2	7	2	-
100.0	52.2	8.7	30.4	8.7	-
12	8	-	4	-	-
100.0	66.7	-	33.3	-	-
6	4	-	2	-	-
100.0	66.7	-	33.3	-	-
7	2	2	3	-	-
100.0	28.6	28.6	42.9	-	-
8	3	1	2	2	-
100.0	37.5	12.5	25.0	25.0	-
23	16	3	3	1	-
100.0	69.6	13.0	13.0	4.3	-
13	8	1	4	-	-
100.0	61.5	7.7	30.8	-	-
15	8	-	6	1	-
100.0	53.3	-	40.0	6.7	-
13	7	1	5	-	-
100.0	53.8	7.7	38.5	-	-
14	8	2	3	1	-
100.0	57.1	14.3	21.4	7.1	-
13	10	-	3	-	-
100.0	76.9	-	23.1	-	-
13	7	1	3	1	1
100.0	53.8	7.7	23.1	7.7	7.7
131	86	9	29	6	1
100.0	65.6	6.9	22.1	4.6	0.8
105	61	8	29	6	1
100.0	58.1	7.6	27.6	5.7	1.0
66	37	7	18	4	-
100.0	56.1	10.6	27.3	6.1	-

(2) ①理念や基本方針が職員に周知されている

調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不敷である	その他	無回答
302	251	22	1	1	27
100.0	83.1	7.3	0.3	0.3	8.9
11	6	3	-	-	2
100.0	54.5	27.3	-	-	18.2
15	15	-	-	-	-
100.0	100.0	-	-	-	-
37	31	3	-	3	3
100.0	83.8	8.1	-	8.1	8.1
18	15	1	-	1	2
100.0	83.3	5.6	-	5.6	11.1
29	25	2	-	2	2
100.0	86.2	6.9	-	6.9	6.9
12	11	-	-	-	1
100.0	91.7	-	-	-	8.3
20	15	3	-	-	2
100.0	75.0	15.0	-	-	10.0
23	17	3	-	-	3
100.0	73.9	13.0	-	-	13.0
12	11	-	-	-	1
100.0	91.7	-	-	-	8.3
6	6	-	-	-	-
100.0	100.0	-	-	-	-
7	5	2	-	-	-
100.0	71.4	28.6	-	-	-
8	6	-	1	-	1
100.0	75.0	-	12.5	-	12.5
23	21	-	-	4.3	4.3
100.0	91.3	-	-	4.3	4.3
13	10	1	-	-	2
100.0	76.9	7.7	-	-	15.4
15	14	1	-	-	-
100.0	93.3	6.7	-	-	-
13	12	1	-	-	-
100.0	92.3	7.7	-	-	-
14	12	-	-	-	2
100.0	85.7	-	-	-	14.3
13	8	1	-	-	4
100.0	61.5	7.7	-	-	30.8
13	11	1	-	-	1
100.0	84.6	7.7	-	-	7.7
131	112	9	-	-	10
100.0	85.5	6.9	-	-	7.6
105	83	9	-	-	13
100.0	79.0	8.6	-	-	12.4
66	56	4	1	1	4
100.0	84.8	6.1	1.5	1.5	6.1

(2) ②理念や基本方針が利用者等に周知されている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	116	34	121	28	3
100.0	38.4	11.3	40.1	9.3	1.0
11	2	1	5	3	-
100.0	18.2	9.1	45.5	27.3	-
15	5	3	6	1	-
100.0	33.3	20.0	40.0	6.7	-
37	18	3	13	2	1
100.0	48.6	8.1	35.1	5.4	2.7
18	7	1	9	1	1
100.0	38.9	5.6	50.0	5.6	-
29	11	7	10	1	-
100.0	37.9	24.1	34.5	3.4	-
12	8	-	4	-	-
100.0	66.7	-	33.3	-	-
20	7	3	6	3	1
100.0	35.0	15.0	30.0	15.0	5.0
23	10	1	10	2	-
100.0	43.5	4.3	43.5	8.7	-
12	6	1	5	-	-
100.0	50.0	8.3	41.7	-	-
6	3	-	3	-	-
100.0	50.0	-	50.0	-	-
7	1	1	3	2	-
100.0	14.3	14.3	42.9	28.6	-
8	2	1	4	1	-
100.0	25.0	12.5	50.0	12.5	-
23	12	3	7	1	-
100.0	52.2	13.0	30.4	4.3	-
13	2	2	8	1	-
100.0	15.4	15.4	61.5	7.7	-
15	5	-	8	2	-
100.0	33.3	-	53.3	13.3	-
13	4	1	5	3	-
100.0	30.8	7.7	38.5	23.1	-
14	3	2	5	3	1
100.0	21.4	14.3	35.7	21.4	7.1
13	6	1	5	1	-
100.0	46.2	7.7	38.5	7.7	-
13	4	3	5	1	-
100.0	30.8	23.1	38.5	7.7	-
131	56	17	48	8	2
100.0	42.7	13.0	36.6	6.1	1.5
105	38	10	43	13	1
100.0	36.2	9.5	41.0	12.4	1.0
66	22	7	30	7	-
100.0	33.3	10.6	45.5	10.6	-

<福祉サービス第三者評価自己評価結果>種別・中区分別集計(最終)

1-1. 理念・基本方針
 (2) ②理念や基本方針が利用中等に周知されている
 種別・中区分

	調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
全体	302	217	52	4	1	28
	100.0	71.9	17.2	1.3	0.3	9.3
救護	11	6	3	-	-	2
	100.0	54.5	27.3	-	-	18.2
看護	15	13	2	-	-	-
	100.0	86.7	13.3	-	-	-
特養	37	29	5	-	-	3
	100.0	78.4	13.5	-	-	8.1
ケアハウス	18	12	3	1	-	2
	100.0	66.7	16.7	5.6	-	11.1
通所介護	29	21	6	-	-	2
	100.0	72.4	20.7	-	-	6.9
短期入所	12	9	2	-	-	1
	100.0	75.0	16.7	-	-	8.3
訪問介護	20	15	3	-	-	2
	100.0	75.0	15.0	-	-	10.0
身障看護	23	17	3	-	-	3
	100.0	73.9	13.0	-	-	13.0
身障授産	12	9	1	-	-	2
	100.0	75.0	8.3	-	-	16.7
身障通所授産	6	4	2	-	-	-
	100.0	66.7	33.3	-	-	-
乳児院	7	3	3	1	-	-
	100.0	42.9	42.9	14.3	-	-
母子生活支援	8	5	1	1	-	1
	100.0	62.5	12.5	12.5	-	12.5
保育所	23	20	2	-	-	1
	100.0	87.0	8.7	-	-	4.3
児童養護	13	8	3	-	-	2
	100.0	61.5	23.1	-	-	15.4
知的障害児	15	12	2	1	-	-
	100.0	80.0	13.3	6.7	-	-
知的入所更生	13	8	5	-	-	-
	100.0	61.5	38.5	-	-	-
知的通所更生	14	8	2	-	1	3
	100.0	57.1	14.3	-	7.1	21.4
知的入所授産	13	8	2	-	-	3
	100.0	61.5	15.4	-	-	23.1
知的通所授産	13	10	2	-	-	1
	100.0	76.9	15.4	-	-	7.7
A	131	99	21	1	-	10
	100.0	75.6	16.0	0.8	-	7.6
B	105	70	20	-	1	14
	100.0	66.7	19.0	-	1.0	13.3
C	66	48	11	3	-	4
	100.0	72.7	16.7	4.5	-	6.1

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計（最終）

1-2. 計画の策定

(1) ①中・長期計画と計画が明確にされている
種別・中区分

調査数	1	2	3	4	5	無回答	
全体	302	57	51	48	50	53	43
教護	100.0	18.9	16.9	15.9	16.6	17.5	14.2
養護	11	3	2	2	3	1	2
100.0	9.1	27.3	18.2	27.3	9.1	9.1	
15	4	4	-	2	2	3	
100.0	26.7	26.7	-	13.3	20.0	13.3	
37	3	3	8	7	8	8	
100.0	8.1	8.1	21.6	18.9	21.6	21.8	
18	2	2	5	2	4	3	
100.0	11.1	11.1	27.8	11.1	22.2	16.7	
29	4	5	2	3	9	6	
100.0	13.8	17.2	6.9	10.3	31.0	20.7	
12	4	-	3	4	1	-	
100.0	33.3	-	25.0	33.3	8.3	-	
20	4	5	3	1	5	2	
100.0	20.0	25.0	15.0	5.0	25.0	10.0	
23	7	2	2	3	6	3	
100.0	30.4	8.7	8.7	13.0	26.1	13.0	
12	2	2	2	3	2	1	
100.0	16.7	16.7	16.7	25.0	16.7	8.3	
6	1	1	-	4	-	-	
100.0	16.7	16.7	-	66.7	-	-	
7	2	-	2	2	2	-	
100.0	28.6	-	28.6	28.6	14.3	-	
8	1	-	3	1	3	-	
100.0	12.5	-	37.5	12.5	37.5	-	
23	6	4	3	2	3	5	
100.0	26.1	17.4	13.0	8.7	13.0	21.7	
13	2	4	1	3	1	2	
100.0	15.4	30.8	7.7	23.1	7.7	15.4	
15	2	-	8	2	2	1	
100.0	13.3	-	53.3	13.3	13.3	6.7	
13	4	3	1	3	1	1	
100.0	30.8	23.1	7.7	23.1	7.7	7.7	
14	3	5	1	1	2	2	
100.0	21.4	35.7	7.1	7.1	14.3	14.3	
13	3	3	1	3	-	3	
100.0	23.1	23.1	7.7	23.1	-	23.1	
13	2	5	1	1	1	3	
100.0	15.4	38.5	7.7	7.7	7.7	23.1	
131	21	19	21	19	30	21	
100.0	16.0	14.5	16.0	14.5	22.9	16.0	
195	23	24	10	21	13	14	
100.0	21.9	22.9	9.5	20.0	12.4	13.3	
66	13	8	17	10	10	8	
100.0	19.7	12.1	25.8	15.2	15.2	12.1	

(1) ①中・長期計画が策定されている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	132	21	133	12	4
100.0	43.7	7.0	44.0	4.0	1.3
11	5	-	4	2	-
100.0	45.5	-	36.4	18.2	-
15	4	2	9	-	-
100.0	26.7	13.3	60.0	-	-
37	21	3	11	1	1
100.0	56.8	8.1	29.7	2.7	2.7
18	6	1	9	2	-
100.0	33.3	5.6	50.0	11.1	-
29	16	2	10	-	5.0
100.0	55.2	6.9	34.5	-	3.4
12	7	1	4	-	-
100.0	58.3	8.3	33.3	-	-
20	6	2	11	-	1
100.0	30.0	10.0	55.0	-	5.0
23	9	1	13	-	-
100.0	39.1	4.3	56.5	-	-
12	7	-	4	1	-
100.0	58.3	-	33.3	8.3	-
6	4	-	2	-	-
100.0	66.7	-	33.3	-	-
7	2	-	5	-	-
100.0	28.6	-	71.4	-	-
8	5	-	3	-	-
100.0	62.5	-	37.5	-	-
23	8	2	10	2	1
100.0	34.8	8.7	43.5	8.7	4.3
13	5	2	6	-	-
100.0	38.5	15.4	46.2	-	-
15	8	1	5	1	-
100.0	53.3	6.7	33.3	6.7	-
13	6	-	7	-	-
100.0	46.2	-	53.8	-	-
14	4	3	6	1	-
100.0	28.6	21.4	42.9	7.1	-
13	6	-	5	2	-
100.0	46.2	-	38.5	15.4	-
13	3	1	9	-	-
100.0	23.1	7.7	69.2	-	-
131	60	11	54	3	3
100.0	45.8	8.4	41.2	2.3	2.3
105	44	5	50	6	-
100.0	41.9	4.8	47.6	5.7	-
66	28	5	29	3	1
100.0	42.4	7.6	43.9	4.5	1.5

(1) ①中・長期計画が策定されている

調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
302	215	45	5	11	26
100.0	71.2	14.9	1.7	3.6	8.6
11	6	3	-	-	2
100.0	54.5	27.3	-	-	18.2
15	13	2	-	-	-
100.0	86.7	13.3	-	-	-
37	27	6	-	2	2
100.0	73.0	16.2	-	5.4	5.4
18	12	4	-	-	2
100.0	66.7	22.2	-	-	11.1
29	21	5	-	3	3
100.0	72.4	17.2	-	10.3	10.3
12	7	4	-	1	-
100.0	58.3	33.3	-	8.3	-
20	12	6	-	-	2
100.0	60.0	30.0	-	-	10.0
23	19	1	-	3	3
100.0	82.6	4.3	-	13.0	13.0
12	7	3	-	-	2
100.0	58.3	25.0	-	-	16.7
6	5	-	-	1	-
100.0	83.3	-	-	16.7	-
7	6	1	-	-	-
100.0	85.7	14.3	-	-	-
8	7	-	-	-	1
100.0	87.5	-	-	-	12.5
23	14	3	3	3	-
100.0	60.9	13.0	13.0	13.0	-
13	8	2	-	1	2
100.0	61.5	15.4	-	7.7	15.4
15	12	6	2	-	-
100.0	80.0	40.0	13.3	-	-
13	10	1	2	-	-
100.0	76.9	7.7	15.4	-	-
14	12	-	-	-	2
100.0	85.7	-	-	-	14.3
13	7	7	-	1	4
100.0	53.8	53.8	-	7.7	30.8
13	10	2	-	-	1
100.0	76.9	15.4	-	-	7.7
131	92	27	-	3	9
100.0	70.2	20.6	-	2.3	6.9
105	76	11	-	4	14
100.0	72.4	10.5	-	3.8	13.3
66	47	7	5	4	3
100.0	71.2	10.6	7.6	6.1	4.5

(1) ②中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	131	27	109	26	9
100.0	43.4	8.9	36.1	8.6	3.0
11	5	1	3	2	-
100.0	45.5	9.1	27.3	18.2	-
15	4	3	8	-	-
100.0	26.7	20.0	53.3	-	-
37	22	3	9	2	1
100.0	59.5	8.1	24.3	5.4	2.7
18	7	1	7	1	2
100.0	38.9	5.6	38.9	5.6	11.1
29	16	2	7	3	3
100.0	55.2	6.9	24.1	10.3	3.4
12	7	1	4	-	-
100.0	58.3	8.3	33.3	-	-
20	6	3	7	3	1
100.0	30.0	15.0	35.0	15.0	5.0
23	8	1	12	1	1
100.0	34.8	4.3	52.2	4.3	4.3
12	7	-	3	-	2
100.0	58.3	-	25.0	16.7	-
6	4	-	2	-	-
100.0	66.7	-	33.3	-	-
7	2	1	4	-	-
100.0	28.6	14.3	57.1	-	-
8	6	-	2	-	-
100.0	75.0	-	25.0	-	-
23	8	1	8	4	2
100.0	34.8	4.3	34.8	17.4	8.7
13	5	2	5	-	1
100.0	38.5	15.4	38.5	-	7.7
15	7	1	5	2	-
100.0	46.7	6.7	33.3	13.3	-
13	5	-	7	1	-
100.0	38.5	-	53.8	7.7	-
14	3	4	5	2	-
100.0	21.4	28.6	35.7	14.3	-
13	6	-	4	3	-
100.0	46.2	-	30.8	23.1	-
13	3	3	7	-	-
100.0	23.1	23.1	53.8	-	-
131	62	13	42	9	5
100.0	47.3	9.9	32.1	6.9	3.8
105	41	9	43	11	1
100.0	39.0	8.6	41.0	10.5	1.0
66	28	5	24	6	3
100.0	42.4	7.6	36.4	9.1	4.5

<福祉サービス第三者評価自己評価結果>種別・中区分別集計(最終)

1-2 計画の概定
 (1) ②中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている
 種別・中区分

	調査数	おおむね 妥当である	見直し が必要である	本 基準は不要である	そ 他	無 回 答
全 体	302 100.0	215 71.2	45 14.9	6 2.0	3 1.0	33 10.9
教護	11 100.0	7 63.6	2 18.2	-	-	2 18.2
教護	15 100.0	13 86.7	2 13.3	-	-	-
特養	37 100.0	28 75.7	5 13.5	-	1 2.7	3 8.1
ケアハウス	18 100.0	14 77.8	1 5.6	1 5.6	-	2 11.1
通所介護	29 100.0	20 69.0	5 17.2	-	-	4 13.8
短期入所	12 100.0	8 66.7	4 33.3	-	-	-
訪問介護	20 100.0	12 60.0	6 30.0	-	-	2 10.0
身体介護	23 100.0	16 69.6	3 13.0	-	-	4 17.4
身体授産	12 100.0	9 75.0	1 8.3	-	-	2 16.7
身体通所授産	6 100.0	6 100.0	-	-	-	-
乳児院	7 100.0	6 85.7	1 14.3	-	-	-
母子生活支援 所	8 100.0	7 87.5	-	-	-	1 12.5
保育所	23 100.0	14 60.9	4 17.4	3 13.0	1 4.3	1 4.3
児童養護 施設	13 100.0	7 53.8	3 23.1	-	-	3 23.1
知的障害児 施設	15 100.0	11 73.3	2 13.3	2 13.3	-	-
知的入所更生 施設	13 100.0	10 76.9	1 7.7	-	-	2 15.4
知的通所更生 施設	14 100.0	12 85.7	-	-	-	2 14.3
知的入所授産 施設	13 100.0	7 53.8	1 7.7	-	1 7.7	4 30.8
知的通所授産 施設	13 100.0	8 61.5	4 30.8	-	-	1 7.7
A	131 100.0	95 72.5	23 17.6	1 0.8	1 0.8	11 8.4
B	105 100.0	75 71.4	12 11.4	-	-	17 16.2
C	66 100.0	45 68.2	10 15.2	5 7.6	1 1.5	5 7.6

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計(最終)

1-2. 計画の策定
(2) 計画が適切に策定されている
種別・中区分

	調査数	1	2	3	4	5	無回答
全体	302	25	50	65	44	41	77
教護	100.0	8.3	16.6	21.5	14.6	13.6	25.5
看護	11	-	1	4	2	-	4
100.0	-	9.1	36.4	18.2	-	-	36.4
支援	15	1	2	3	1	5	3
100.0	6.7	13.3	20.0	6.7	33.3	20.0	-
特養	37	3	3	7	5	6	11
100.0	8.1	8.1	18.9	13.5	21.6	29.7	-
ケアハウス	18	2	5	2	3	1	5
100.0	11.1	27.8	11.1	16.7	5.6	27.8	-
通所介護	29	4	4	8	3	3	7
100.0	13.8	13.8	27.6	10.3	10.3	24.1	-
短期入所	12	1	1	6	2	-	2
100.0	8.3	8.3	50.0	16.7	-	16.7	-
訪問介護	20	3	4	2	2	4	5
100.0	15.0	20.0	10.0	10.0	20.0	25.0	-
身体障害	23	-	6	3	4	5	5
100.0	-	26.1	13.0	17.4	21.7	21.7	-
身体介護	12	-	3	2	-	1	6
100.0	-	25.0	16.7	-	-	50.0	-
身体通所介護	6	-	-	1	4	1	-
100.0	-	-	16.7	66.7	16.7	-	-
乳児院	7	1	2	1	1	1	1
100.0	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	-
母子生活支援	8	-	-	1	2	3	2
100.0	-	-	12.5	25.0	37.5	25.0	-
保育所	23	3	3	4	3	3	7
100.0	13.0	13.0	17.4	13.0	13.0	30.4	-
児童養護	13	2	3	2	3	-	3
100.0	15.4	23.1	15.4	23.1	-	23.1	-
知的障害児	15	1	3	4	3	2	2
100.0	6.7	20.0	26.7	20.0	13.3	13.3	-
知的入所更生	13	1	2	5	2	1	2
100.0	7.7	15.4	38.5	15.4	7.7	15.4	-
知的通所更生	14	1	1	4	1	3	4
100.0	7.1	7.1	28.6	7.1	21.4	28.6	-
知的入所介護	13	1	3	4	1	-	4
100.0	7.7	23.1	30.8	7.7	-	30.8	-
知的通所介護	13	1	4	2	2	-	4
100.0	7.7	30.8	15.4	15.4	-	30.8	-
A	131	14	19	28	16	21	33
100.0	10.7	14.5	21.4	12.2	16.0	25.2	-
B	105	4	20	25	16	11	29
100.0	3.8	19.0	23.8	15.2	10.5	27.6	-
C	66	7	11	12	12	9	15
100.0	10.6	16.7	18.2	18.2	18.2	22.7	-

(2) ①計画の策定が組織的に行われている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	94	131	55	17	5
100.0	31.1	43.4	18.2	5.6	1.7
11	3	6	1	1	-
100.0	27.3	54.5	9.1	9.1	-
15	5	8	2	-	-
100.0	33.3	53.3	13.3	-	-
37	15	14	6	1	1
100.0	40.5	37.8	16.2	2.7	2.7
18	3	9	3	2	1
100.0	16.7	50.0	16.7	11.1	5.6
29	9	13	6	-	1
100.0	31.0	44.8	20.7	-	3.4
12	2	6	4	-	-
100.0	16.7	50.0	33.3	-	-
20	6	6	5	2	-
100.0	30.0	30.0	25.0	10.0	5.0
23	6	16	1	-	-
100.0	26.1	69.6	4.3	-	-
12	4	5	2	1	-
100.0	33.3	41.7	16.7	8.3	-
6	4	2	-	-	-
100.0	66.7	33.3	-	-	-
7	1	3	3	-	-
100.0	14.3	42.9	42.9	-	-
8	6	1	1	-	-
100.0	75.0	12.5	12.5	-	-
23	8	4	6	4	1
100.0	34.8	17.4	26.1	17.4	4.3
13	5	5	3	-	-
100.0	38.5	38.5	23.1	-	-
15	5	4	5	1	-
100.0	33.3	26.7	33.3	6.7	-
13	4	8	-	-	-
100.0	30.8	61.5	-	-	-
14	3	8	2	1	-
100.0	21.4	57.1	14.3	7.1	-
13	2	6	2	3	-
100.0	15.4	46.2	15.4	23.1	-
13	3	7	3	-	-
100.0	23.1	53.8	23.1	-	-
131	40	56	26	5	4
100.0	30.5	42.7	18.8	3.8	3.1
105	29	58	11	7	-
100.0	27.6	55.2	10.5	6.7	-
66	25	17	18	5	1
100.0	37.9	25.8	27.3	7.6	1.5

(2) ①計画の策定が組織的に行われている

調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
302	223	42	4	1	32
100.0	73.8	13.9	1.3	0.3	10.6
11	8	1	-	-	2
100.0	72.7	9.1	-	-	18.2
15	13	2	-	-	-
100.0	86.7	13.3	-	-	-
37	30	4	-	3	3
100.0	81.1	10.8	-	8.1	8.1
18	16	-	-	-	2
100.0	88.9	-	-	-	11.1
29	22	4	-	-	3
100.0	75.9	13.8	-	-	10.3
12	10	1	-	-	1
100.0	83.3	8.3	-	-	8.3
20	15	3	-	-	2
100.0	75.0	15.0	-	-	10.0
23	17	2	-	-	4
100.0	73.9	8.7	-	-	17.4
12	9	2	-	-	1
100.0	75.0	16.7	-	-	8.3
6	4	2	-	-	-
100.0	66.7	33.3	-	-	-
7	4	3	-	-	-
100.0	57.1	42.9	-	-	-
8	7	-	-	-	-
100.0	87.5	-	-	-	-
23	16	4	2	-	1
100.0	69.6	17.4	8.7	-	4.3
13	8	2	-	-	3
100.0	61.5	15.4	-	-	23.1
15	10	3	2	-	-
100.0	66.7	20.0	13.3	-	-
13	11	2	-	-	-
100.0	84.6	15.4	-	-	-
14	10	-	-	-	4
100.0	71.4	-	-	-	28.6
13	5	3	-	1	4
100.0	38.5	23.1	-	7.7	30.8
13	8	4	-	-	1
100.0	61.5	30.8	-	-	7.7
131	106	14	-	-	11
100.0	80.9	10.7	-	-	8.4
105	72	16	-	1	16
100.0	68.6	15.2	-	1.0	15.2
66	45	12	4	-	5
100.0	68.2	18.2	6.1	-	7.6

(2) ②計画が職員や利用者等に周知されている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	106	34	116	40	6
100.0	35.1	11.3	38.4	13.2	2.0
11	3	1	4	3	-
100.0	27.3	9.1	36.4	27.3	-
15	8	2	3	2	-
100.0	53.3	13.3	20.0	13.3	-
37	14	8	10	4	1
100.0	37.8	21.6	27.0	10.8	2.7
18	2	2	10	2	2
100.0	11.1	11.1	55.6	11.1	11.1
29	9	3	12	4	1
100.0	31.0	10.3	41.4	13.8	3.4
12	3	-	8	1	-
100.0	25.0	-	66.7	8.3	-
20	7	3	4	5	1
100.0	35.0	15.0	20.0	25.0	5.0
23	12	-	8	3	-
100.0	52.2	-	34.8	13.0	-
12	3	1	7	1	-
100.0	25.0	8.3	58.3	8.3	-
6	3	2	1	-	-
100.0	50.0	33.3	16.7	-	-
7	1	-	6	-	-
100.0	14.3	-	85.7	-	-
8	4	1	3	-	-
100.0	50.0	12.5	37.5	-	-
23	8	1	10	3	1
100.0	34.8	4.3	43.5	13.0	4.3
13	6	-	6	-	-
100.0	46.2	-	46.2	7.7	-
15	6	-	7	2	-
100.0	40.0	-	46.7	13.3	-
13	5	1	6	1	-
100.0	38.5	7.7	46.2	7.7	-
14	4	5	3	2	-
100.0	28.6	35.7	21.4	14.3	-
13	3	1	5	4	-
100.0	23.1	7.7	38.5	30.8	-
13	5	3	3	2	-
100.0	38.5	23.1	23.1	15.4	-
131	43	18	47	18	5
100.0	32.8	13.7	35.9	13.7	3.8
105	38	14	37	16	-
100.0	36.2	13.3	35.2	15.2	-
66	25	2	32	6	1
100.0	37.9	3.0	48.5	9.1	1.5

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計(最終)

1-2. 計画の策定
 (2) ②計画が職員や利用者等に周知されている
 種別・中区分

	調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不算である	その他	無回答
全体	302	210	52	3	3	34
	100.0	69.5	17.2	1.0	1.0	11.3
救護	11	7	2	-	-	2
	100.0	63.6	18.2	-	-	18.2
看護	15	13	2	-	-	-
	100.0	86.7	13.3	-	-	-
特養	37	27	5	-	1	4
	100.0	73.0	13.5	-	2.7	10.8
ケアハウス	18	12	4	-	-	2
	100.0	66.7	22.2	-	-	11.1
通所介護	29	22	4	-	-	3
	100.0	75.9	13.8	-	-	10.3
短期入所	12	8	3	-	-	1
	100.0	66.7	25.0	-	-	8.3
訪問介護	20	13	4	-	-	3
	100.0	65.0	20.0	-	-	15.0
身障施設	23	16	3	-	-	4
	100.0	69.6	13.0	-	-	17.4
身障投産	12	10	2	-	-	-
	100.0	83.3	16.7	-	-	-
身障通所授産	6	4	2	-	-	-
	100.0	66.7	33.3	-	-	-
乳児院	7	4	3	-	-	-
	100.0	57.1	42.9	-	-	-
母子生活支援	8	7	-	-	-	1
	100.0	87.5	-	-	-	12.5
保育所	23	16	3	2	-	2
	100.0	69.6	13.0	8.7	-	8.7
児童養護	13	7	4	-	-	2
	100.0	53.8	30.8	-	-	15.4
知的障害児	15	11	2	1	-	1
	100.0	73.3	13.3	6.7	-	6.7
知的入所更生	13	10	2	-	-	1
	100.0	76.9	15.4	-	-	7.7
知的通所更生	14	8	1	-	1	3
	100.0	64.3	7.1	-	7.1	21.4
知的入所授産	13	6	2	-	1	4
	100.0	46.2	15.4	-	7.7	30.8
知的通所授産	13	8	4	-	-	1
	100.0	61.5	30.8	-	-	7.7
A	131	95	22	-	1	13
	100.0	72.5	16.8	-	0.8	9.9
B	105	70	18	-	2	15
	100.0	66.7	17.1	-	1.9	14.3
C	66	45	12	3	-	6
	100.0	68.2	18.2	4.5	-	9.1

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計（最終）

1-3. 経営者（管理者）の責任とリーダーシップ

(1) 経営者（管理者）の責任が明確にされている
種別・中区分

	調査数	1	2	3	4	5	無回答
全体	302	8	27	58	67	100	42
救護	100.0	2.6	8.9	18.2	22.2	33.1	13.9
介護	11	-	1	3	2	4	1
児童	100.0	-	8.1	27.3	18.2	36.4	8.1
児童	15	-	3	3	1	7	1
児童	100.0	-	20.0	20.0	6.7	46.7	6.7
児童	37	-	2	4	11	12	8
ケアハウス	100.0	-	5.4	10.8	29.7	32.4	21.6
ケアハウス	18	-	4	2	4	5	3
通所介護	100.0	-	22.2	11.1	22.2	27.8	16.7
通所介護	29	-	2	1	5	15	6
通所介護	100.0	-	6.9	3.4	17.2	51.7	20.7
短期入所	12	1	-	-	4	5	2
短期入所	100.0	8.3	-	-	33.3	41.7	16.7
訪問介護	20	1	3	6	2	6	2
訪問介護	100.0	5.0	15.0	30.0	10.0	30.0	10.0
身障支援	23	-	2	6	5	8	2
身障支援	100.0	-	8.7	26.1	21.7	34.8	8.7
身障支援	12	1	-	6	1	3	1
身障支援	100.0	8.3	-	50.0	8.3	25.0	8.3
身障通所授産	6	-	1	1	3	1	-
身障通所授産	100.0	-	16.7	16.7	50.0	16.7	-
乳児院	7	-	-	2	3	2	-
乳児院	100.0	-	-	28.6	42.9	28.6	-
母子生活支援	8	-	3	-	4	1	-
母子生活支援	100.0	-	37.5	-	50.0	12.5	-
保育所	23	-	1	4	7	7	4
保育所	100.0	-	4.3	17.4	30.4	30.4	17.4
児童支援	13	2	-	3	3	2	3
児童支援	100.0	15.4	-	23.1	23.1	15.4	23.1
知的障害児	15	-	1	3	3	7	1
知的障害児	100.0	-	6.7	20.0	20.0	46.7	6.7
知的入所更生	13	-	1	4	1	5	2
知的入所更生	100.0	-	7.7	30.8	7.7	38.5	15.4
知的通所更生	14	1	1	6	2	3	1
知的通所更生	100.0	7.1	7.1	42.9	14.3	21.4	7.1
知的入所授産	13	2	-	-	3	5	2
知的入所授産	100.0	15.4	-	-	23.1	38.5	15.4
知的通所授産	13	-	1	4	3	2	3
知的通所授産	100.0	-	7.7	30.8	23.1	15.4	23.1
A	131	2	14	16	27	50	22
A	100.0	1.5	10.7	12.2	20.6	38.2	16.8
B	105	4	8	30	20	31	12
B	100.0	3.8	7.6	28.6	19.0	29.5	11.4
C	66	2	5	12	20	19	8
C	100.0	3.0	7.6	18.2	30.3	28.8	12.1

(1) ①経営者（管理者）白らの役割と責任を職員に表明している

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	254	19	24	2	3
100.0	84.1	6.3	7.9	0.7	1.0
11	8	1	1	1	-
100.0	72.7	9.1	9.1	9.1	-
15	12	-	3	-	-
100.0	80.0	-	20.0	-	-
37	35	-	2	-	1
100.0	94.6	-	2.7	-	2.7
18	16	1	1	-	-
100.0	88.9	5.6	5.6	-	-
29	26	2	2	-	-
100.0	89.7	6.9	3.4	-	-
12	11	-	1	-	-
100.0	91.7	-	8.3	-	-
20	17	1	2	-	-
100.0	85.0	5.0	10.0	-	-
23	19	-	4	-	-
100.0	82.6	-	17.4	-	-
12	10	1	1	-	-
100.0	83.3	8.3	8.3	-	-
6	4	1	1	-	-
100.0	66.7	16.7	16.7	-	-
7	6	1	-	-	-
100.0	85.7	14.3	-	-	-
8	4	2	2	-	-
100.0	50.0	25.0	25.0	-	-
23	19	3	1	-	-
100.0	82.6	13.0	4.3	-	-
13	11	1	1	-	-
100.0	84.6	7.7	-	-	-
15	14	-	1	-	-
100.0	93.3	-	6.7	-	-
13	12	-	1	-	-
100.0	92.3	-	7.7	-	-
14	10	3	-	-	-
100.0	71.4	21.4	-	-	-
13	11	-	2	-	-
100.0	84.6	-	15.4	-	-
13	9	2	1	-	-
100.0	68.2	15.4	7.7	-	-
131	117	4	9	-	-
100.0	89.3	3.1	6.9	-	-
105	83	8	11	-	-
100.0	78.0	7.6	10.5	-	-
66	54	7	4	-	-
100.0	81.8	10.6	6.1	-	-

(1) ①経営者（管理者）白らの役割と責任を職員に表明している

調査数	おむね妥当である	見直しが必要である	本質は不要である	その他	無回答
302	240	28	2	4	28
100.0	79.5	9.3	0.7	1.3	9.3
11	8	1	-	-	2
100.0	72.7	9.1	-	-	18.2
15	14	1	-	-	-
100.0	93.3	6.7	-	-	-
37	29	5	-	3	3
100.0	78.4	13.5	-	8.1	8.1
18	13	2	1	2	2
100.0	72.2	11.1	5.6	11.1	11.1
29	24	3	-	2	6.9
100.0	82.8	10.3	-	6.9	6.9
12	11	-	-	-	1
100.0	91.7	-	-	-	8.3
20	15	2	-	3	3
100.0	75.0	10.0	-	15.0	15.0
23	19	2	-	2	2
100.0	82.6	8.7	-	8.7	8.7
12	8	3	-	-	1
100.0	66.7	25.0	-	-	8.3
6	5	1	-	-	-
100.0	83.3	16.7	-	-	-
7	7	-	-	-	-
100.0	100.0	-	-	-	-
8	6	-	-	1	1
100.0	75.0	-	-	12.5	12.5
23	21	1	-	1	-
100.0	91.3	4.3	-	4.3	-
13	10	-	-	1	2
100.0	76.9	-	-	7.7	15.4
15	11	3	1	-	-
100.0	73.3	20.0	6.7	-	-
13	12	-	-	-	-
100.0	92.3	-	-	-	-
14	10	1	-	-	3
100.0	71.4	7.1	-	-	21.4
13	8	1	-	-	4
100.0	61.5	7.7	-	-	30.8
13	9	2	-	1	1
100.0	68.2	15.4	-	7.7	7.7
131	106	13	1	-	11
100.0	80.9	9.9	0.8	-	8.4
105	79	11	-	1	14
100.0	75.2	10.5	-	1.0	13.3
66	55	4	1	3	3
100.0	83.3	6.1	1.5	4.5	4.5

(1) ②基本方針や計画の実施状況を把握している

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	241	22	30	6	3
100.0	79.8	7.3	9.9	2.0	1.0
11	10	-	-	1	-
100.0	90.9	-	-	9.1	-
15	10	1	4	-	-
100.0	66.7	6.7	26.7	-	-
37	31	1	4	-	1
100.0	83.8	2.7	10.8	-	2.7
18	14	3	1	-	-
100.0	77.8	16.7	5.6	-	-
29	24	2	1	-	1
100.0	82.8	6.9	3.4	-	3.4
12	11	-	-	-	-
100.0	91.7	-	-	-	-
20	15	2	2	-	-
100.0	75.0	10.0	10.0	-	-
23	21	1	1	-	-
100.0	91.3	4.3	4.3	-	-
12	11	-	-	-	-
100.0	91.7	-	-	-	-
6	5	1	-	-	-
100.0	83.3	16.7	-	-	-
7	6	-	-	-	-
100.0	85.7	-	-	-	-
8	6	1	-	-	-
100.0	75.0	12.5	-	-	-
23	18	2	3	-	-
100.0	78.3	8.7	13.0	-	-
13	7	2	3	-	-
100.0	53.8	15.4	23.1	-	-
15	13	-	2	-	-
100.0	86.7	-	13.3	-	-
13	11	1	1	-	-
100.0	84.6	7.7	7.7	-	-
14	10	2	2	-	-
100.0	71.4	14.3	14.3	-	-
13	11	-	2	-	-
100.0	84.6	-	15.4	-	-
13	7	3	1	-	-
100.0	53.8	23.1	7.7	-	-
131	105	9	13	2	2
100.0	80.2	6.9	9.9	1.5	1.5
105	86	8	8	2	1
100.0	81.9	7.6	7.6	1.9	1.0
66	50	5	9	2	-
100.0	75.8	7.6	13.6	3.0	-

<福祉サービス第三者評価自己評価結果>種別・中区分別集計(最終)

1-3. 経営者(管理者)の責任とリーダーシップ

(1) ①法令等方針や計画の実施状況を把握している

種別・中区分	調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
全体	302 100.0	240 79.5	22 7.3	4 1.3	4 1.3	32 10.6
救護	11 100.0	8 72.7	1 9.1	-	-	2 18.2
養護	15 100.0	14 93.3	1 6.7	-	-	-
特養	37 100.0	30 81.1	3 8.1	-	-	4 10.8
ケアハウス	18 100.0	13 72.2	2 11.1	1 5.6	-	2 11.1
通所介護	29 100.0	23 79.3	4 13.8	-	-	2 6.9
短期入所	12 100.0	10 83.3	-	-	1 8.3	1 8.3
訪問介護	20 100.0	16 80.0	1 5.0	-	-	3 15.0
身障看護	23 100.0	18 78.3	-	1 4.3	-	3 13.0
身障授産	12 100.0	9 75.0	2 16.7	-	-	1 8.3
身障通所授産	6 100.0	6 100.0	-	-	-	-
乳児院	7 100.0	7 100.0	-	-	-	-
母子生活支援	8 100.0	6 75.0	-	-	-	2 25.0
保育所	23 100.0	20 87.0	2 8.7	-	1 4.3	-
児童養護	13 100.0	9 69.2	-	-	1 7.7	3 23.1
知的障害児	15 100.0	11 73.3	3 20.0	1 6.7	-	-
知的入所更生	13 100.0	10 76.9	1 7.7	-	-	2 15.4
知的通所更生	14 100.0	11 78.6	-	-	-	3 21.4
知的入所授産	13 100.0	9 69.2	1 7.7	-	-	3 23.1
知的通所授産	13 100.0	9 69.2	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7
A	131 100.0	106 80.9	11 8.4	1 0.8	1 0.8	12 9.2
B	105 100.0	81 77.1	6 5.7	2 1.9	1 1.0	15 14.3
C	66 100.0	53 80.3	5 7.6	1 1.5	3 4.5	5 7.6

(1) ②法令等を正しく認識し説明しないための対策を講じている

調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
302 100.0	233 77.2	35 11.6	4 1.3	3 1.0	27 8.9
11 100.0	8 72.7	1 9.1	-	-	2 18.2
15 100.0	15 100.0	-	-	-	-
37 100.0	29 78.4	3 8.1	1 2.7	1 2.7	4 10.8
18 100.0	13 72.2	2 11.1	-	-	3 16.7
29 100.0	23 79.3	4 13.8	-	-	2 6.9
12 100.0	7 58.3	4 33.3	-	-	1 8.3
20 100.0	16 80.0	2 10.0	-	-	2 10.0
23 100.0	18 78.3	3 13.0	1 4.3	-	1 4.3
12 100.0	10 83.3	1 8.3	-	-	1 8.3
6 100.0	5 83.3	1 16.7	-	-	-
7 100.0	5 71.4	2 28.6	-	-	-
8 100.0	7 87.5	-	-	-	1 12.5
23 100.0	20 87.0	2 8.7	1 4.3	-	-
13 100.0	9 69.2	1 7.7	-	1 7.7	2 15.4
15 100.0	11 73.3	3 20.0	1 6.7	-	-
13 100.0	11 84.6	1 7.7	-	-	1 7.7
14 100.0	11 78.6	-	-	1 7.1	2 14.3
13 100.0	8 61.5	2 15.4	-	-	3 23.1
13 100.0	7 53.8	3 23.1	-	1 7.7	2 15.4
131 100.0	103 78.6	15 11.5	1 0.8	-	12 9.2
105 100.0	78 74.3	12 11.4	1 1.0	2 1.9	15 14.3
66 100.0	52 78.8	8 12.1	2 3.0	1 1.5	5 7.6

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計（最終）

【一-3. 経営者（管理者）の責任とリーダーシップ
 (2) 経営者（管理者）のリーダーシップが発揮されている
 種別・中区分

	調査数	1	2	3	4	5	無回答
全体	302	14	19	46	67	83	63
介護	100.0	4.6	6.3	15.2	22.2	30.8	20.9
児童	11	1	1	1	4	3	1
児童	100.0	9.1	9.1	9.1	36.4	27.3	9.1
児童	15	-	-	5	1	5	4
児童	100.0	-	-	33.3	6.7	33.3	26.7
児童	37	1	1	6	6	14	9
児童	100.0	2.7	2.7	16.2	16.2	37.8	24.3
ケアハウス	18	3	3	3	2	7	3
ケアハウス	100.0	16.7	16.7	16.7	11.1	38.9	16.7
通所介護	29	-	3	-	7	11	8
通所介護	100.0	-	10.3	-	24.1	37.9	27.6
短期入所	12	1	-	-	3	7	1
短期入所	100.0	8.3	-	-	25.0	58.3	8.3
訪問介護	20	2	2	4	4	5	3
訪問介護	100.0	10.0	10.0	20.0	20.0	25.0	15.0
身障児童	23	1	4	4	6	8	4
身障児童	100.0	4.3	17.4	17.4	26.1	34.8	17.4
身障児童	12	1	1	3	2	2	3
身障児童	100.0	8.3	8.3	25.0	16.7	16.7	25.0
身障通所授産	6	-	1	1	3	-	1
身障通所授産	100.0	-	16.7	16.7	50.0	-	16.7
乳児院	7	-	1	2	2	2	-
乳児院	100.0	-	14.3	28.6	28.6	28.6	-
母子生活支援	8	2	-	1	2	1	2
母子生活支援	100.0	25.0	-	12.5	25.0	12.5	25.0
保育所	23	-	-	5	8	6	4
保育所	100.0	-	-	21.7	34.8	26.1	17.4
児童養護	13	-	2	1	3	2	5
児童養護	100.0	-	15.4	7.7	23.1	15.4	38.5
知的障害児	15	-	1	1	4	7	2
知的障害児	100.0	-	6.7	6.7	26.7	46.7	13.3
知的入所更生	13	-	1	1	4	5	2
知的入所更生	100.0	-	7.7	7.7	30.8	38.5	15.4
知的通所授産	14	1	1	4	1	4	3
知的通所授産	100.0	7.1	7.1	28.6	7.1	28.6	21.4
知的入所授産	13	3	1	1	4	2	2
知的入所授産	100.0	23.1	7.7	7.7	30.8	15.4	15.4
知的通所授産	13	1	-	3	1	2	6
知的通所授産	100.0	7.7	-	23.1	7.7	15.4	46.2
A	13	4	9	18	23	49	28
A	100.0	3.1	6.9	13.7	17.6	37.4	21.4
B	105	8	6	18	25	26	22
B	100.0	7.6	5.7	17.1	23.8	24.8	21.0
C	66	2	4	10	19	18	13
C	100.0	3.0	6.1	15.2	28.8	27.3	19.7

(2) ①順の向上に意欲を持ちその取組みに相乗力を発揮している

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	237	31	24	3	7
100.0	78.5	10.3	7.9	1.0	2.3
11	8	1	1	1	-
100.0	72.7	9.1	9.1	9.1	-
15	11	1	3	-	-
100.0	73.3	6.7	20.0	-	-
37	33	1	2	-	1
100.0	89.2	2.7	5.4	-	2.7
18	13	2	3	-	-
100.0	72.2	11.1	16.7	-	-
29	23	4	1	-	1
100.0	79.3	13.8	3.4	-	3.4
12	10	1	1	-	-
100.0	83.3	8.3	8.3	-	-
20	16	2	2	-	-
100.0	80.0	10.0	10.0	-	-
23	19	2	-	1	1
100.0	82.6	8.7	-	4.3	4.3
12	10	1	1	-	-
100.0	83.3	8.3	8.3	-	-
6	5	1	-	-	-
100.0	83.3	16.7	-	-	-
7	6	1	-	-	-
100.0	85.7	14.3	-	-	-
8	4	2	2	-	-
100.0	50.0	25.0	25.0	-	-
23	16	3	2	-	2
100.0	69.6	13.0	8.7	-	8.7
13	9	3	-	1	-
100.0	69.2	23.1	-	7.7	-
15	12	1	2	-	-
100.0	80.0	6.7	13.3	-	-
13	12	-	1	-	-
100.0	92.3	-	7.7	-	-
14	12	2	-	-	-
100.0	85.7	14.3	-	-	-
13	9	2	2	-	-
100.0	69.2	15.4	15.4	-	-
13	9	1	1	-	2
100.0	69.2	7.7	7.7	-	15.4
131	106	11	12	-	2
100.0	80.9	8.4	9.2	-	1.5
105	84	10	6	2	3
100.0	80.0	9.5	5.7	1.9	2.9
66	47	10	6	1	2
100.0	71.2	15.2	9.1	1.5	3.0

(2) ②順の向上に意欲を持ちその取組みに相乗力を発揮している

調査数	おむね妥当である	見直しが必要である	本差は不要である	その他	無回答
302	230	34	2	5	31
100.0	76.2	11.3	0.7	1.7	10.3
11	7	2	-	-	2
100.0	63.6	18.2	-	-	18.2
15	12	2	-	-	1
100.0	80.0	13.3	-	-	6.7
37	29	4	-	1	3
100.0	78.4	10.8	-	2.7	8.1
18	13	2	-	-	3
100.0	72.2	11.1	-	-	16.7
29	21	4	-	2	2
100.0	72.4	13.8	-	6.9	6.9
12	11	-	-	-	1
100.0	91.7	-	-	-	8.3
20	16	2	-	-	2
100.0	80.0	10.0	-	-	10.0
23	17	3	-	-	3
100.0	73.9	13.0	-	-	13.0
12	10	2	-	-	-
100.0	83.3	16.7	-	-	-
6	5	1	-	-	-
100.0	83.3	16.7	-	-	-
7	6	1	-	-	-
100.0	85.7	14.3	-	-	-
8	7	-	-	-	1
100.0	87.5	-	-	-	12.5
23	19	1	1	-	2
100.0	82.6	4.3	4.3	-	8.7
13	10	-	-	1	2
100.0	76.9	-	-	7.7	15.4
15	11	3	1	-	-
100.0	73.3	20.0	6.7	-	-
13	9	3	-	-	1
100.0	69.2	23.1	-	-	7.7
14	11	1	-	-	2
100.0	78.6	7.7	-	-	14.3
13	8	1	-	-	4
100.0	61.5	7.7	-	-	30.8
13	8	2	-	1	2
100.0	61.5	15.4	-	7.7	15.4
131	102	14	-	3	12
100.0	77.9	10.7	-	2.3	9.2
105	75	15	-	1	14
100.0	71.4	14.3	-	1.0	13.3
66	53	5	2	1	5
100.0	80.3	7.6	3.0	1.5	7.6

(2) ③経営者の効率化と改善への取組みに相乗力を発揮している

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302	221	30	39	3	9
100.0	73.2	9.9	12.9	1.0	3.0
11	9	-	1	-	1
100.0	81.8	-	9.1	-	9.1
15	10	-	5	-	-
100.0	66.7	-	33.3	-	-
37	31	1	4	-	1
100.0	83.8	2.7	10.8	-	2.7
18	14	1	3	-	-
100.0	77.8	5.6	16.7	-	-
29	21	4	3	-	1
100.0	72.4	13.8	10.3	-	3.4
12	10	1	1	-	-
100.0	83.3	8.3	8.3	-	-
20	15	2	3	-	-
100.0	75.0	10.0	15.0	-	-
23	18	2	2	-	1
100.0	78.3	8.7	8.7	-	4.3
12	10	1	1	-	-
100.0	83.3	8.3	8.3	-	-
6	5	-	1	-	-
100.0	83.3	-	16.7	-	-
7	6	1	-	-	-
100.0	85.7	14.3	-	-	-
8	3	2	2	1	-
100.0	37.5	25.0	25.0	12.5	-
23	15	4	1	-	3
100.0	65.2	17.4	4.3	-	13.0
13	9	1	2	-	1
100.0	69.2	7.7	15.4	-	7.7
15	12	1	2	-	-
100.0	80.0	6.7	13.3	-	-
13	10	1	2	-	-
100.0	76.9	7.7	15.4	-	-
14	7	3	3	-	1
100.0	50.0	21.4	21.4	-	7.1
13	8	3	2	-	-
100.0	61.5	23.1	15.4	-	-
13	8	2	1	-	2
100.0	61.5	15.4	7.7	-	15.4
131	101	9	19	-	2
100.0	77.1	6.9	14.5	-	1.5
105	75	12	13	1	4
100.0	71.4	11.4	12.4	1.0	3.8
66	45	9	7	2	3
100.0	68.2	13.6	10.6	3.0	4.5

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計(最終)

1-3. 経営者(管理者)の責任とリーダーシップ
 (2) ②経営等の効率化と改善への取組みに相増力を発揮している
 種別・中区分

	調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不寛である	その他	無回答
全体	302	226	33	3	6	34
	100.0	74.8	10.9	1.0	2.0	11.3
救護	11	7	2	-	-	2
	100.0	63.6	18.2	-	-	18.2
養護	15	12	2	-	-	1
	100.0	80.0	13.3	-	-	6.7
特養	37	30	3	-	1	3
	100.0	81.1	8.1	-	2.7	8.1
ケアハウス	18	13	2	-	-	3
	100.0	72.2	11.1	-	-	16.7
通所介護	29	20	5	-	2	2
	100.0	68.0	17.2	-	6.9	6.9
短期入所	12	11	-	-	-	1
	100.0	91.7	-	-	-	8.3
訪問介護	20	16	2	-	-	2
	100.0	80.0	10.0	-	-	10.0
身障療護	23	15	5	-	-	3
	100.0	65.2	21.7	-	-	13.0
身障授産	12	9	2	-	-	1
	100.0	75.0	16.7	-	-	8.3
身障通所授産	6	5	1	-	-	-
	100.0	83.3	16.7	-	-	-
乳児院	7	7	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
母子生活支援	8	6	1	-	-	1
	100.0	75.0	12.5	-	-	12.5
保育所	23	19	-	1	-	3
	100.0	82.6	-	4.3	-	13.0
児童養護	13	10	-	-	1	2
	100.0	76.9	-	-	7.7	15.4
知的障害児	15	10	3	2	-	-
	100.0	66.7	20.0	13.3	-	-
知的入所更生	13	8	3	-	-	2
	100.0	61.5	23.1	-	-	15.4
知的通所更生	14	11	1	-	-	2
	100.0	78.6	7.1	-	-	14.3
知的入所授産	13	8	-	-	1	4
	100.0	61.5	-	-	7.7	30.8
知的通所授産	13	9	1	-	1	2
	100.0	69.2	7.7	-	7.7	15.4
A	131	102	14	-	3	12
	100.0	77.9	10.7	-	2.3	9.2
B	105	72	15	-	2	16
	100.0	68.6	14.3	-	1.9	15.2
C	66	52	4	3	1	6
	100.0	78.8	6.1	4.5	1.5	9.1

<福祉サービス第三者評価自己評価結果>種別・中区分別集計(最終)

Ⅱ-1. 地域との交流と連携

(1) 福祉社会との関係が確保されている
種別・中区分

調査数	1	2	3	4	5	無回答	
全体	302 100.0	13 4.3	24 7.9	64 21.2	100 33.1	65 21.5	36 11.9
介護	11	1	3	5	-	2	-
養護	15	-	-	4	3	7	1
特養	37	1	3	6	10	11	6
ケアハウス	18	2	8	16	27	29	16
通所介護	29	-	-	5	10	9	5
短期入所	12	1	1	1	4	3	2
訪問介護	20	2	3	4	6	2	3
身体障害	23	-	1	3	11	6	2
身体障害	12	1	1	4	5	-	1
身体障害	6	8	3	33	41	7	8
乳児院	7	-	-	16	7	-	16
母子生活支援	8	-	2	25	62	-	12
保育所	23	-	3	7	6	4	3
児童養護	13	2	13	30	42	17	13
知的障害児	15	2	15	38	55	-	15
知的入所更生	13	2	2	5	3	1	7
知的通所更生	14	1	1	2	6	4	1
知的入所投産	13	2	1	4	3	2	7
知的通所投産	13	-	1	15	38	5	2
A	131	4	10	22	40	36	19
B	105	7	7	23	39	19	10
C	66	2	6	21	21	10	7

(1) ①利用者との地域とのかわり大切にしている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302 100.0	235 77.8	25 8.3	26 8.6	14 4.6	2 0.7
11	9	1	-	1	-
15	13	1	1	-	-
100.0	86.7	6.7	6.7	-	-
37	24	6	6	1	-
100.0	64.9	16.2	16.2	2.7	-
18	15	1	2	-	-
100.0	83.3	5.6	11.1	-	-
29	24	2	2	-	1
100.0	82.8	6.9	6.9	-	3.4
12	8	1	1	2	-
100.0	66.7	8.3	8.3	16.7	-
20	13	1	2	3	1
100.0	65.0	5.0	10.0	15.0	5.0
23	21	1	3	-	-
100.0	91.3	4.3	4.3	-	-
12	11	-	1	-	-
100.0	91.7	-	8.3	-	-
6	3	2	1	-	-
100.0	50.0	33.3	16.7	-	-
7	3	1	-	3	-
100.0	42.9	14.3	-	42.9	-
8	5	2	1	-	-
100.0	62.5	25.0	12.5	-	-
23	15	4	3	1	-
100.0	65.2	17.4	13.0	4.3	-
13	12	-	-	-	-
100.0	92.3	-	-	-	-
15	14	-	1	-	-
100.0	93.3	-	6.7	-	-
13	9	-	2	2	-
100.0	69.2	-	15.4	15.4	-
14	14	-	-	-	-
100.0	100.0	-	-	-	-
13	11	2	-	-	-
100.0	84.6	15.4	-	-	-
13	11	-	2	-	-
100.0	84.6	-	15.4	-	-
131	97	12	14	6	2
100.0	74.0	9.2	10.7	4.6	1.5
105	89	6	7	3	-
100.0	84.8	5.7	6.7	2.9	-
66	49	7	5	5	-
100.0	74.2	10.6	7.6	7.6	-

(1) ①利用者との地域とのかわり大切にしている

調査数	おむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
302 100.0	234 77.5	33 10.9	6 2.0	4 1.3	25 8.3
11	8	1	-	-	2
100.0	72.7	9.1	-	-	18.2
15	13	1	1	-	-
100.0	86.7	6.7	6.7	-	-
37	32	3	-	2	2
100.0	86.5	8.1	-	5.4	-
18	14	2	-	2	-
100.0	77.8	11.1	-	11.1	-
29	22	6	1	-	-
100.0	75.9	20.7	3.4	-	-
12	10	1	-	1	-
100.0	83.3	8.3	-	8.3	-
20	14	2	1	1	2
100.0	70.0	10.0	5.0	5.0	10.0
23	20	2	-	-	1
100.0	87.0	8.7	-	-	4.3
12	9	2	-	-	-
100.0	75.0	16.7	-	-	8.3
6	4	2	-	-	-
100.0	66.7	33.3	-	-	-
7	4	-	1	2	-
100.0	57.1	-	14.3	28.6	-
8	6	1	-	-	1
100.0	75.0	12.5	-	-	12.5
23	16	4	-	-	3
100.0	69.6	17.4	-	-	13.0
13	10	-	1	-	2
100.0	76.9	-	7.7	-	15.4
15	12	2	1	-	-
100.0	80.0	13.3	6.7	-	-
13	12	1	-	-	-
100.0	92.3	7.7	-	-	-
14	10	2	-	-	2
100.0	71.4	14.3	-	-	14.3
13	7	1	-	-	5
100.0	53.8	7.7	-	-	38.5
13	11	-	-	-	2
100.0	84.6	-	-	-	15.4
131	105	15	3	2	6
100.0	80.2	11.5	2.3	1.5	4.6
105	81	11	-	-	13
100.0	77.1	10.5	-	-	12.4
66	48	7	3	2	6
100.0	72.7	10.6	4.5	3.0	9.1

(1) ②事業所が有する機能を地域に還元している

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302 100.0	206 68.2	25 8.3	54 17.9	16 5.3	1 0.3
11	5	1	5	-	-
100.0	45.5	9.1	45.5	-	-
15	10	1	3	1	-
100.0	66.7	6.7	20.0	6.7	-
37	25	3	9	-	-
100.0	67.6	8.1	24.3	-	-
18	14	1	1	1	1
100.0	77.8	5.6	5.6	5.6	5.6
29	20	3	6	-	-
100.0	69.0	10.3	20.7	-	-
12	6	-	3	3	-
100.0	50.0	-	25.0	25.0	-
20	12	1	2	5	-
100.0	60.0	5.0	10.0	25.0	-
23	15	1	7	-	-
100.0	65.2	4.3	30.4	-	-
12	8	2	1	1	-
100.0	66.7	16.7	8.3	8.3	-
6	2	3	1	-	-
100.0	33.3	50.0	16.7	-	-
7	4	-	1	2	-
100.0	57.1	-	14.3	28.6	-
8	2	1	4	1	-
100.0	25.0	12.5	50.0	12.5	-
23	18	3	2	-	-
100.0	78.3	13.0	8.7	-	-
13	10	1	2	-	-
100.0	76.9	7.7	15.4	-	-
15	14	-	1	-	-
100.0	93.3	-	6.7	-	-
13	11	-	1	1	-
100.0	84.6	-	7.7	7.7	-
14	11	2	1	-	-
100.0	78.6	14.3	7.1	-	-
13	10	-	2	1	-
100.0	76.9	-	15.4	7.7	-
13	9	2	2	-	-
100.0	69.2	15.4	15.4	-	-
131	87	9	24	10	1
100.0	66.4	6.9	18.3	7.6	0.8
105	71	11	20	3	-
100.0	67.6	10.5	19.0	2.9	-
66	48	5	10	3	-
100.0	72.7	7.6	15.2	4.5	-

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計(最終)

Ⅱ-1. 施設との交流と連携

(1) ①の事業所が有する機能を地域に還元している
種別・中区分

	調査数	おおむね 妥当である	見直しが必要 である	本基準は不要 である	その他	無 回答
全体	302	228	39	2	7	28
教護	100.0	74.8	12.9	0.7	2.3	9.3
養護	11	8	-	-	1	2
	100.0	72.7	-	-	9.1	18.2
特養	15	11	3	-	1	-
	100.0	73.3	20.0	-	6.7	-
ケアハウス	37	31	2	-	2	2
	100.0	83.8	5.4	-	5.4	5.4
通所介護	18	12	3	-	3	3
	100.0	66.7	16.7	-	16.7	16.7
短期入所	29	23	6	-	-	-
	100.0	79.3	20.7	-	-	-
訪問介護	12	8	2	-	1	1
	100.0	66.7	16.7	-	8.3	8.3
身障授産	20	15	1	1	-	3
	100.0	75.0	5.0	5.0	-	15.0
身障通所授産	23	19	2	-	-	2
	100.0	82.6	8.7	-	-	8.7
身障授産	12	9	2	-	-	1
	100.0	75.0	16.7	-	-	8.3
身障通所授産	6	3	2	-	1	-
	100.0	50.0	33.3	-	16.7	-
乳児院	7	5	1	-	1	-
	100.0	71.4	14.3	-	14.3	-
母子生活支援	8	4	3	-	-	1
	100.0	50.0	37.5	-	-	12.5
保育所	23	20	1	-	-	2
	100.0	87.0	4.3	-	-	8.7
児童福祉	13	10	1	-	-	2
	100.0	76.9	7.7	-	-	15.4
知的障害児	15	13	1	1	-	-
	100.0	86.7	6.7	6.7	-	-
知的入所更生	13	12	1	-	-	-
	100.0	92.3	7.7	-	-	-
知的通所更生	14	9	2	-	-	3
	100.0	64.3	14.3	-	-	21.4
知的入所授産	13	6	3	-	-	4
	100.0	46.2	23.1	-	-	30.8
知的通所授産	13	8	3	-	-	2
	100.0	61.5	23.1	-	-	15.4
A	131	100	17	1	4	9
	100.0	76.3	13.0	0.8	3.1	6.9
B	105	74	15	-	2	14
	100.0	70.5	14.3	-	1.9	13.3
C	66	52	7	1	1	5
	100.0	78.8	10.6	1.5	1.5	7.6

(1) ②ボランティア受入れ態勢を明確にし、体制を確立している (1) ③ボランティア受入れ態勢を明確にし、体制を確立している

	調査数	a	b	c	該当 しない
全体	302	152	80	55	15
	100.0	50.3	26.5	18.2	5.0
教護	11	4	2	5	-
	100.0	36.4	18.2	45.5	-
養護	15	12	2	1	-
	100.0	80.0	13.3	6.7	-
特養	37	20	10	6	1
	100.0	54.1	27.0	16.2	2.7
ケアハウス	18	7	7	3	1
	100.0	38.9	38.9	16.7	5.6
通所介護	29	15	8	6	-
	100.0	51.7	27.6	20.7	-
短期入所	12	6	3	1	2
	100.0	50.0	25.0	8.3	16.7
訪問介護	20	6	3	3	8
	100.0	30.0	15.0	15.0	40.0
身障授産	23	11	10	2	-
	100.0	47.8	43.5	8.7	-
身障通所授産	12	5	7	-	-
	100.0	41.7	58.3	-	-
身障授産	6	4	1	1	-
	100.0	66.7	16.7	16.7	-
乳児院	7	1	2	3	1
	100.0	14.3	28.6	42.9	14.3
母子生活支援	8	3	2	3	-
	100.0	37.5	25.0	37.5	-
保育所	23	7	7	8	1
	100.0	30.4	30.4	34.8	4.3
児童福祉	13	7	2	4	-
	100.0	53.8	15.4	30.8	-
知的障害児	15	8	6	1	-
	100.0	53.3	40.0	6.7	-
知的入所更生	13	9	1	3	-
	100.0	69.2	7.7	23.1	-
知的通所更生	14	8	3	2	1
	100.0	57.1	21.4	14.3	7.1
知的入所授産	13	10	2	1	-
	100.0	76.9	15.4	7.7	-
知的通所授産	13	8	2	2	-
	100.0	69.2	15.4	15.4	-
A	131	66	33	20	12
	100.0	50.4	25.2	15.3	9.2
B	105	60	28	16	1
	100.0	57.1	26.7	15.2	1.0
C	66	26	19	19	2
	100.0	39.4	28.8	28.8	3.0

	調査数	おおむね 妥当である	見直しが必要 である	本基準は不要 である	その他	無 回答
全体	302	239	28	6	4	25
	100.0	79.1	9.3	2.0	1.3	8.3
教護	11	7	2	-	-	2
	100.0	63.6	18.2	-	-	18.2
養護	15	14	-	-	-	1
	100.0	93.3	-	-	-	6.7
特養	37	31	4	-	-	2
	100.0	83.8	10.8	-	-	5.4
ケアハウス	18	15	1	-	-	2
	100.0	83.3	5.6	-	-	11.1
通所介護	29	28	1	-	-	-
	100.0	96.6	3.4	-	-	-
短期入所	12	11	-	1	-	-
	100.0	91.7	-	8.3	-	-
訪問介護	20	9	3	4	1	3
	100.0	45.0	15.0	20.0	5.0	15.0
身障授産	23	20	2	-	-	1
	100.0	87.0	8.7	-	-	4.3
身障通所授産	12	9	1	-	-	2
	100.0	75.0	8.3	-	-	16.7
身障授産	6	6	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
乳児院	7	5	1	-	1	-
	100.0	71.4	14.3	-	14.3	-
母子生活支援	8	5	2	-	-	1
	100.0	62.5	25.0	-	-	12.5
保育所	23	17	3	1	-	2
	100.0	73.9	13.0	4.3	-	8.7
児童福祉	13	9	2	-	-	2
	100.0	69.2	15.4	-	-	15.4
知的障害児	15	12	3	-	-	-
	100.0	80.0	20.0	-	-	-
知的入所更生	13	13	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
知的通所更生	14	9	1	-	2	2
	100.0	64.3	7.1	-	14.3	14.3
知的入所授産	13	9	1	-	-	3
	100.0	69.2	7.7	-	-	23.1
知的通所授産	13	10	1	-	-	2
	100.0	76.9	7.7	-	-	15.4
A	131	108	9	5	1	8
	100.0	82.4	6.9	3.8	0.8	6.1
B	105	83	8	-	2	12
	100.0	79.0	7.6	-	1.9	11.4
C	66	48	11	1	1	5
	100.0	72.7	16.7	1.5	1.5	7.6

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計(最終)

Ⅱ-1. 地域との交流と連携
 (2) 関係機関等との連携が確立されている
 種別・中区分

調査数	1	2	3	4	5	無回答	
全体	302 100.0	15 5.0	37 12.3	81 26.8	57 18.9	68 22.5	44 14.6
教護	11 100.0	2 18.2	9.1 9.1	5 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1
養護	15 100.0	-	-	5 26.7	4 26.7	4 26.7	2 13.3
特費	37 100.0	-	5 13.5	11 29.7	6 16.2	8 21.6	7 18.9
ケアハウス	18 100.0	-	2 11.1	5 27.8	2 11.1	6 33.3	3 16.7
通所介護	29 100.0	-	4 13.8	6 20.7	6 20.7	8 27.6	5 17.2
短期入所	12 100.0	2 16.7	1 8.3	4 33.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3
訪問介護	20 100.0	-	2 10.0	7 35.0	5 25.0	3 15.0	3 15.0
身障支援	23 100.0	1 4.3	3 13.0	6 26.1	4 17.4	6 26.1	3 13.0
身障授産	12 100.0	-	5 41.7	4 33.3	2 16.7	-	1 8.3
身障通所授産	6 100.0	-	1 16.7	-	3 50.0	1 16.7	1 16.7
乳児院	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3
母子生活支援	8 100.0	-	-	2 25.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5
保育所	23 100.0	3 13.0	2 8.7	8 34.8	3 13.0	4 17.4	3 13.0
児童養護	13 100.0	2 15.4	2 15.4	1 7.7	2 15.4	4 30.8	2 15.4
知的障害児	15 100.0	-	-	4 26.7	4 26.7	6 40.0	1 6.7
知的入所更生	13 100.0	3 23.1	3 23.1	4 30.8	1 7.7	4 30.8	1 7.7
知的通所更生	14 100.0	1 7.1	3 21.4	2 14.3	5 35.7	2 14.3	1 7.1
知的入所授産	13 100.0	-	1 7.7	3 23.1	3 23.1	3 23.1	3 23.1
知的通所授産	13 100.0	-	4 30.8	3 23.1	1 7.7	1 7.7	4 30.8
A	131 100.0	2 1.5	14 10.7	38 28.0	24 18.3	32 24.4	21 16.0
B	105 100.0	7 6.7	18 17.1	27 25.7	20 19.0	18 17.1	15 14.3
C	66 100.0	6 9.1	5 7.6	16 24.2	13 19.7	18 27.3	8 12.1

(2) ①必要な社会資源を明確にしている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302 100.0	174 57.6	31 10.3	90 29.8	3 1.0	4 1.3
11 100.0	3 27.3	1 9.1	7 63.6	-	-
15 100.0	12 80.0	-	3 20.0	-	-
37 100.0	22 59.5	5 13.5	10 27.0	-	-
18 100.0	12 66.7	1 5.6	4 22.2	-	1 5.6
29 100.0	15 51.7	5 17.2	7 24.1	1 3.4	3.4
12 100.0	8 66.7	1 8.3	3 25.0	-	-
20 100.0	10 50.0	3 15.0	6 30.0	1 5.0	-
23 100.0	13 56.5	-	9 39.1	-	4.3
12 100.0	5 41.7	2 16.7	5 41.7	-	-
6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	-	-
7 100.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3	-	-
8 100.0	4 50.0	1 12.5	3 37.5	-	-
23 100.0	10 43.5	4 17.4	9 39.1	-	-
13 100.0	6 46.2	1 7.7	6 46.2	-	-
15 100.0	13 86.7	1 6.7	1 6.7	-	-
13 100.0	8 61.5	-	5 38.5	-	-
14 100.0	8 57.1	2 14.3	3 21.4	1 7.1	-
13 100.0	11 84.6	-	1 7.7	-	1 7.7
13 100.0	6 46.2	1 7.7	6 46.2	-	-
131 100.0	79 60.3	15 11.5	33 25.2	2 1.5	1.5
105 100.0	58 55.2	7 6.7	37 35.2	1 1.0	1.9
66 100.0	37 56.1	9 13.6	20 30.3	-	-

(2) ①必要な社会資源を明確にしている

調査数	おおむね妥当である	見直しが必要である	本基準は不要である	その他	無回答
302 100.0	221 73.2	40 13.2	10 3.3	4 1.3	27 8.9
11 100.0	7 63.6	2 18.2	-	-	2 18.2
15 100.0	13 86.7	-	-	2 13.3	-
37 100.0	27 73.0	3 8.1	4 10.8	-	3 8.1
18 100.0	13 72.2	2 11.1	1 5.6	-	2 11.1
29 100.0	23 79.3	4 13.8	1 3.4	-	1 3.4
12 100.0	8 66.7	2 16.7	2 16.7	-	-
20 100.0	13 65.0	2 10.0	1 5.0	-	4 20.0
23 100.0	17 73.9	3 13.0	-	1 4.3	8.7
12 100.0	10 83.3	1 8.3	-	-	1 8.3
6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-
7 100.0	7 100.0	-	-	-	-
8 100.0	7 87.5	-	-	-	1 12.5
23 100.0	16 69.6	6 26.1	-	-	4.3
13 100.0	9 68.2	1 7.7	1 7.7	-	2 15.4
15 100.0	13 86.7	2 13.3	-	-	-
13 100.0	9 69.2	4 30.8	-	-	-
14 100.0	10 71.4	1 7.1	-	1 7.1	14.3
13 100.0	7 53.8	1 7.7	-	-	5 38.5
13 100.0	8 61.5	4 30.8	-	-	1 7.7
131 100.0	97 74.0	13 9.9	9 6.9	2 1.5	10 7.6
105 100.0	72 68.6	18 17.1	-	2 1.9	13 12.4
66 100.0	52 78.8	9 13.6	1 1.5	-	4 6.1

(2) ②関係機関等との連携が適切に行われている

調査数	a	b	c	該当しない	無回答
302 100.0	162 53.6	27 8.9	104 34.4	7 2.3	2 0.7
11 100.0	1 9.1	1 9.1	9 81.8	-	-
15 100.0	7 46.7	-	8 53.3	-	-
37 100.0	21 56.8	3 8.1	11 29.7	2 5.4	-
18 100.0	13 72.2	2 11.1	3 16.7	-	-
29 100.0	14 48.3	5 17.2	10 34.5	-	-
12 100.0	6 50.0	1 8.3	5 41.7	-	-
20 100.0	13 65.0	1 5.0	4 20.0	10.0	-
23 100.0	11 47.8	2 8.7	10 43.5	-	-
12 100.0	4 33.3	2 16.7	6 50.0	-	-
6 100.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	16.7	-
7 100.0	3 42.9	2 28.6	2 28.6	-	-
8 100.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	-	12.5
23 100.0	11 47.8	2 8.7	10 43.5	-	-
13 100.0	11 84.6	-	2 15.4	-	-
15 100.0	15 100.0	-	-	-	2 15.4
13 100.0	6 46.2	-	5 38.5	-	-
14 100.0	6 42.9	2 14.3	6 42.9	-	-
13 100.0	10 76.9	-	3 23.1	-	-
13 100.0	9 69.2	4 30.8	6 46.2	-	1 7.7
131 100.0	74 56.5	12 9.2	41 31.3	4 3.1	-
105 100.0	44 41.9	10 9.5	47 44.8	3 2.9	1 1.0
66 100.0	44 66.7	5 7.6	16 24.2	-	1 1.5

＜福祉サービス第三者評価自己評価結果＞種別・中区分別集計(最終)

Ⅱ-1. 地域との交流と連携
 (2) ④関係機関等との連携が適切に行われている
 種別・中区分

	調査数	おおむね 妥当である	見直し が必要である	本 基準は 不要である	そ の 他	無 回 答
全 体	302	216	44	6	7	29
	100.0	71.5	14.6	2.0	2.3	9.6
教 護	11	4	5	-	-	2
	100.0	36.4	45.5	-	-	18.2
養 護	15	13	1	-	1	-
	100.0	86.7	6.7	-	6.7	-
特 養	37	26	3	3	1	4
	100.0	70.3	8.1	8.1	2.7	10.8
ケアハウス	18	15	1	-	-	2
	100.0	83.3	5.6	-	-	11.1
通所介護	29	22	4	1	1	1
	100.0	75.9	13.8	3.4	3.4	3.4
短期入所	12	9	2	1	-	-
	100.0	75.0	16.7	8.3	-	-
訪問介護	20	13	3	1	-	3
	100.0	65.0	15.0	5.0	-	15.0
身体障害	23	19	2	-	-	2
	100.0	82.6	8.7	-	-	8.7
身体授産	12	7	5	-	-	-
	100.0	58.3	41.7	-	-	-
身体通所授産	6	4	1	-	-	1
	100.0	66.7	16.7	-	-	16.7
乳児院	7	5	1	-	1	-
	100.0	71.4	14.3	-	14.3	-
母子生活支援	8	6	1	-	-	1
	100.0	75.0	12.5	-	-	12.5
保育所	23	16	5	-	-	2
	100.0	69.6	21.7	-	-	8.7
児童養護	13	10	1	-	-	2
	100.0	76.9	7.7	-	-	15.4
知的障害児	15	13	2	-	-	-
	100.0	86.7	13.3	-	-	-
知的入所更生	13	9	3	-	-	1
	100.0	69.2	23.1	-	-	7.7
知的通所更生	14	10	-	-	2	2
	100.0	71.4	-	-	14.3	14.3
知的入所授産	13	7	2	-	-	4
	100.0	53.8	15.4	-	-	30.8
知的通所授産	13	8	2	-	1	2
	100.0	61.5	15.4	-	7.7	15.4
A	131	98	14	6	3	10
	100.0	74.8	10.7	4.6	2.3	7.6
B	105	68	20	-	3	14
	100.0	64.8	19.0	-	2.8	13.3
C	66	50	10	-	1	5
	100.0	75.8	15.2	-	1.5	7.6